

ラベル印刷ソフト BA-300 Ver.1.02

Windows対応 取扱説明書

本ソフトで
どんなことができるか知りたい



本ソフトを使いたい



困ったときには



本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

ご 注 意

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利
はすべてカシオ計算機株式会社に帰属します。

- Microsoft、Windows、Excel、および Aero は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書に掲載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、® マークは明記しておりません。

© 2017 CASIO COMPUTER CO., LTD.

ソフトウェアの正常な使用またはバックアップコピーを作成する場合を除き、カシオ計算機株式会社の書面による同意なしには、本取扱説明書やプログラムの一部または全部を問わず、複製することを禁じます。

本書に関するご注意

- 本書に記載の事例を利用したことにより生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社はその責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。また、個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本ソフトウェアの仕様ならびに本書の内容は、将来予告なく変更することがあります。

- 本ソフトのインストール・動作環境は、「取扱説明書」をご覧ください。
- 本ソフトは、Windows 10/Windows 8.1/Windows 7 SP1 上で動作するアプリケーションソフトウェアです。
- 機器の構成によっては、正常に動作しない場合があります。

目次

本ソフトの概要と準備

この取扱説明書の読み方	5
本書を読む順序	5
本書での説明について	5
本ソフトを使える機種について	6
ラベル印刷ソフト BA-300 のご紹介	7
本ソフトでできること	7

ラベル印刷ソフト BA-300

本ソフトの操作の流れ	9
本ソフトの基本的な操作	10
起動する	10
開く	11
新規保存する	12
上書き保存する	12
閉じる	12
終了する	12
レイアウト作成の流れ	13
接続機種を設定する	13
新しいレイアウトを作成する	14
サンプルを使ってレイアウトを作成する	15
レイアウト作成画面について	16

メニューバーについて	17
プルダウンメニュー	17
レイアウト作成画面のツールバーなどについて	20
ツールバー	20
作業ウィンドウ	21
グリッドの表示	22
キーを使った操作について	23
ショートカットキー	23
キーによるフィールドの移動	23
フィールドについて	24
4つのフィールド	24
共通の操作	25
文字を挿入する	26
文字を修正・編集・削除する	27
フィールド内の文字を修正する	27
フィールド内の文字を編集する	27
文字フィールドを削除する	28
よく使う文字を簡単に入力する	29
文字パネルへ登録する	29
パネルから文字を挿入する	30
文字パネルから文字を削除する	30
画像を挿入する	31
パネルから画像を挿入する	31
ファイル名を指定して画像を挿入する	31
パソコンの画面を取り込む（キャプチャー）	32

画像を差し替える・編集する	33
フィールド内の画像を差し替える	33
画像フィールドを削除する	33
画像のモノクロ化を設定する	34
画像をパネルへ登録する・削除する	35
画像をパネルへ登録する	35
画像パネルから画像を削除する	35
図形を挿入する	37
図形を差し替える・編集する	38
フィールド内の図形を差し替える	38
フィールド内の図形を編集する	38
図形フィールドを削除する	39
バーコードや2次元コードを挿入する	40
バーコードや2次元コードを修正・編集・削除する	41
フィールド内の文字や数字を修正する	41
バーコードの設定を編集する	41
バーコードフィールドを削除する	42
フレームを挿入する	43
日付や時刻（タイムスタンプ）を挿入する	43
オブジェクトを挿入する	44
フィールドを配置する・サイズを合わせる	44
フィールドの配置・サイズ合わせとは	44
フィールドを選択する	45
フィールドを配置する・サイズ合わせをする	45

差込機能について	46
差込機能とは	46
操作の流れ	46
差込用データベースを作成する	47
差込データベースツールを起動する・終了する	47
差込データベースツールのメニューバー	47
差込データベースツールのツールバー	48
差込データベースを新規作成する	49
差込データベースを流用作成する	49
フィールドを差込設定する	51
あらかじめ差込設定されたレイアウトや	
文字フィールドを使う	53
差込内容を確認する	53
連番機能について	55
連番機能とは	55
連番の規則	56
フィールドを連番設定する	57
連番印刷を確認する	59
複製機能を使う	60
レイアウトを複製する	60
選択したフィールドを複製する	61
印刷するときの注意事項	63
印刷する	63
印刷する	63
差込印刷する	65
テープ送りをする・テープをカットする	66

ラベル作成のヒント	67
テープカートリッジの幅以上のラベルを 作成するときは	67

本ソフトの付録

ソフト操作時のトラブルについて	69
印刷時のトラブルについて	70
エラーメッセージ一覧	72
本ソフト使用時のトラブルについて	73

本ソフトの概要と準備

この取扱説明書の読み方

本書を読む順序

- ①最初に、「概要と準備」(5～7ページ)をご覧ください。概要や必要な環境などの確認をしてください。
- ②印刷するときは「本ソフトの操作の流れ」(9ページ)からご覧ください。

本書での説明について

■ Windows 自体の説明はしていません

本書は「BA-300」(Windows 版)の取扱説明書です。本ソフトは、Windows 10/Windows 8.1/Windows 7 SP1 (以後 Windows と記述します) 上で動作するアプリケーションソフトであり、本書では、Windows そのものの操作については説明しておりません。本書は、本ソフトをご使用になるお客様が、少なくとも以下のような Windows の基本操作に習熟されていることを前提として書かれております。

- ・クリック、ダブルクリック、右クリック、ドラッグ、ドラッグ・アンド・ドロップなどのマウス操作
- ・マウスによるメニュー操作
- ・キーボードによる文字入力
- ・Windows に共通のウィンドウ操作

これら Windows の基本的な操作に関しましては、お手持ちのパソコンまたは Windows パッケージ付属の取扱説明書をご覧ください。

■メニュー / ボタン操作の表記について

本書でのすべての操作は、マウスを使用することを前提としています。
・起動画面(「新規 / 開く」画面)の操作方法は、次のような形で表記しています。

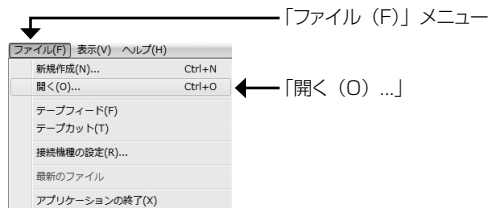


[新規作成] をクリックし、[OK] をクリックします。

- ・ツールバーの操作方法は、次のような形で表記しています。



- メニューあるいはコマンドの操作方法は、次のような形で表記しています。



「ファイル (F)」メニューから「開く (O) ...」をクリックします。

- ダイアログボックス中のボタンは次のような形で表記します。



[OK] をクリックします。

[OK]

■キー操作の表記について

本ソフトでは、マウスの操作とキーボードでのキー操作を併用することがあります。使用するキーには "Ctrl キー"、"Shift キー"、"Alt キー" があります。本書ではこれらのキーを [Ctrl] キー、[Shift] キー、[Alt] キーとそれぞれ表記します。これらのキーは、A や B といったアルファベットキーと併用される場合もあります。

■表示画面について

- 本書中で使用している表示画面は、実際の画面と若干異なる場合がありますが、表示内容そのものが異なるということはありません。あらかじめご了承ください。
- 本書記載の画面は、Windows 7 SP1 を例に説明しております。その他の OS では、本書記載の画面と異なる場合があります。

本ソフトを使える機種について

本ソフトは、次の機種から印刷することができます。

●本ソフトから印刷できる機種

KL-E550 KL-E500 KL-V460 KL-V450 KL-G2
KL-G1 KL-T100 KL-T70 KL-T50 KL-M50 KL-M40

- 実際に印刷するためには、機種に対応したプリンタードライバーがインストールされている必要があります。各機種用のプリンタードライバーのインストールについては、それぞれの機種に付属の「取扱説明書」をご覧ください。また、最新のソフトウェアのダウンロードや、関連情報については、以下のサイトをご覧ください。

<http://casio.jp/support/d-stationery/>

ラベル印刷ソフト BA-300 のご紹介

本ソフトは、ラベルに印刷する内容を、パソコンで作成するソフトです。本ソフトでは、アプリケーションで設定したレイアウト通りに印刷できます。

本ソフトでできること

本ソフトを使うと、次のようなラベルを簡単に作成することができます。



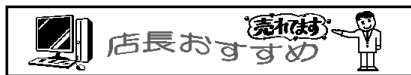
発注伝票ファイル

↑ 受付は2階です



足元に注意

●複雑なデザインのラベルが作成できます。



- 作成した内容は、ファイルとして保存しておくことができます。
- パソコンに搭載されている文字（TrueType フォントのみ）で印刷できます。
- 他のアプリケーションで作成した画像（拡張子が「.bmp」「.jpg」「.png」の画像）を印刷できます（「画像を挿入する」[31](#) ページ参照）。
- 簡単な図形を作成して印刷できます（「図形を挿入する」[37](#) ページ参照）。
- 現在表示している画面を取り込んで、ラベルを作成することができます（「パソコンの画面を取り込む（キャプチャー）」[32](#) ページ参照）。
- 背景に画像を入れて文字を印刷できます。
- 異なる内容を同じフォーマットで連続して印刷できます（「差込機能について」[46](#) ページ参照）。
- デザインが同じで内容だけが異なるラベルを、簡単に作成できます。
- Microsoft Excel などのデータを利用して連続して印刷できます（「差込データベースを流用作成する」[49](#) ページ参照）。

	製品番号	管理者
1	001	吉田
2	002	岡本
3	003	山田



- BA-300 プログラムをインストールすると、BMP 形式のイラストデータ（内蔵画像）がインストールされます。
- バーコードが作成できます。



- 2 次元コードが作成できます。
本書では次の形式をまとめて「2 次元コード」として説明します。
QR CODE、PDF417、Data Matrix



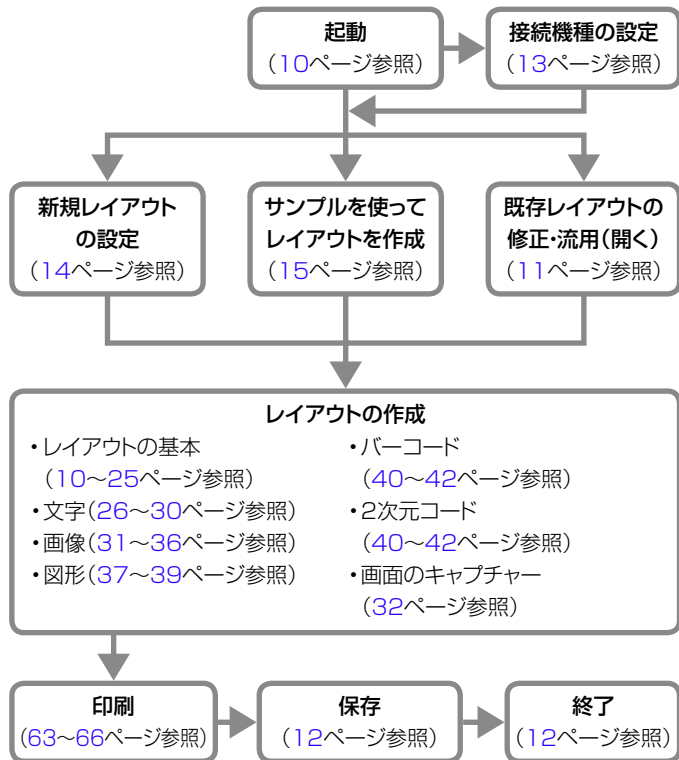
ラベル印刷ソフト BA-300

本ソフトの操作の流れ

ここでは、本ソフトのラベルの内容を作成するときの全体的な操作の流れについて説明します。

テーブルに印刷する内容を**レイアウト**といいます。

レイアウトは、文字・画像・図形・バーコードや2次元コードを自由に組み合わせて作成します。



■取扱説明書について

画面上に取扱説明書を表示させ、操作方法や注意事項を確認できます。
「ヘルプ (H)」メニューから「取扱説明書 (M)」をクリックします。

本ソフトの基本的な操作

本ソフトの「起動」「(既存レイアウトを)開く」「新規保存」「上書き保存」「(作成中のレイアウトを)閉じる」「終了」について説明します。

起動する

起動後、初めてお使いになるときは、「レイアウト作成の流れ」(13 ページ) も合わせてご覧ください。

1 アイコンをダブルクリックする。

「新規 / 開く」画面が表示されます。



2 次のいずれかの操作を行う。

新しいレイアウトを作成するとき

[新規作成] をクリックし、[OK] をクリックします。「ラベルのプロパティ」画面が表示されます (14 ページ参照)。

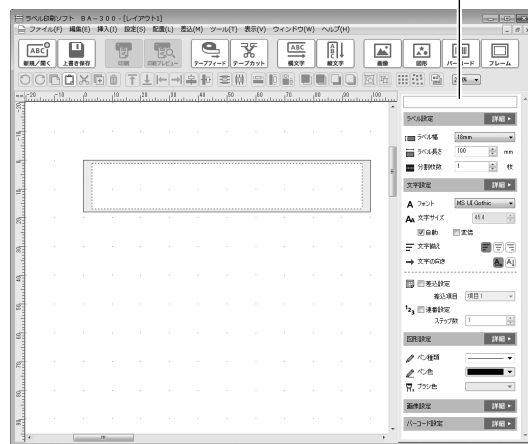
サンプルのレイアウトを選ぶとき

[サンプルから作成] をクリックし、[OK] をクリックします。ジャンル分けされたフォルダを選ぶ画面が表示されます (15 ページ参照)。

既存のレイアウトファイルを開くとき

[ファイルを開く] をクリックし、[OK] をクリックします。ファイルを選ぶ画面が表示されます (11 ページ参照)。

実際には機種名が表示されます。
ここでは省略します。



- ・ 起動したときに、すぐに編集画面を表示させたいときは、「起動時にこの画面を表示しない」チェックボックスにチェックを入れてください。起動の際に「新規 / 開く」画面が表示されなくなります。

「スタート」メニューから起動するには

本ソフトは次の操作で起動することもできます。

- ① Windows の「スタート」メニューをクリックします。
- ② 「すべてのプログラム」 - 「CASIO」 - 「ラベル印刷ソフト BA-300」 - 「BA-300」の順にクリックします。
 - ・ BA-300 が表示されるフォルダは、インストール時の設定によって異なることがあります。

開く

既存のレイアウトファイルを開きます。

1 ツールバーの をクリックする。

- ・または「ファイル(F)」メニューから「開く(O)...」をクリックします。この場合は手順3に進んでください。
「新規/開く」画面が表示されます。

2 「ファイルを開く」をクリックし、[OK] をクリックする。

- ・「ファイルを開く」をダブルクリックしても同じです。
ファイルを選ぶ画面が表示されます。



3 開きたいレイアウト名(ファイル名)をクリックして、[OK] をクリックする。

選択したレイアウトを編集する画面が表示されます。

- ・ご購入時の最初の設定では[マイドキュメント]と[デスクトップ]ボタンが表示されます。
- ・[追加(A)]ボタンをクリックして、ボタンとして表示するフォルダを2つまで追加することができます。
- ・一覧にはレイアウトファイルとフォルダが表示されます。
- ・一覧に表示されたフォルダを開いて、[次へ(F)]をクリックして、そのフォルダの中のレイアウトファイルを選ぶこともできます。
1つ上のフォルダに戻るときは[上へ(B)]をクリックしてください。

レイアウトファイルの拡張子について

- ・本ソフトで作成したレイアウトの拡張子は「.lyv」です。
- ・異なるバージョンのレイアウトファイル(.lyu、.lyc)を開くこともできます。
- ・保存するときの拡張子はすべて「.lyv」となります。

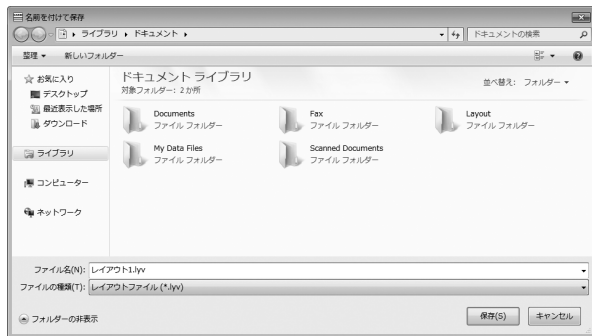
作成したときとは異なる機種でレイアウトファイルを開いた場合

- ・「レイアウトファイルを作成したときに接続していた機種」と異なる機種を接続してレイアウトファイルを開くと、機種間での余白の長さの違いや、印刷密度の違いにより、若干レイアウトがずれることがあります。ずれが生じた場合はレイアウトを修正してください。

新規保存する

新規で作成したレイアウトを保存します。また、別名で保存したい場合もこの手順を使います。

- 1 「ファイル (F)」メニューから「名前を付けて保存 (A)...」をクリックする。



- 2 レイアウト名 (ファイル名) を入力する。
 - ・ 拡張子は「.ljv」となります。
- 3 入力内容を確認し [保存 (S)] をクリックする。
中止する場合は [キャンセル] をクリックします。

上書き保存する

すでに保存してあるレイアウトを上書き保存します。

- 1 ツールバーの  をクリックするか、もしくは「ファイル (F)」メニューから「上書き保存 (S)」をクリックする。
レイアウトが保存されます。

閉じる

- 1 「ファイル (F)」メニューから「閉じる (C)」をクリックする。
作成中のレイアウトが閉じます。
 - ・ 作成中のレイアウトが保存されていないと、メッセージが表示されます。保存するかしないかを選択してください。

終了する

- 1 「ファイル (F)」メニューから「アプリケーションの終了 (X)」をクリックする。
本ソフトが終了します。
 - ・ 終了時に作成中のレイアウトが保存されていないと、メッセージが表示されます。保存するかしないかを選択してください。

レイアウト作成の流れ

レイアウトとは、テープに印刷する内容のことです。ここでは、レイアウトを作成するときの流れについて説明します。

レイアウトのサイズ設定

レイアウトの形とサイズは、印刷する機種に応じて設定できます。

- ・ 接続機種を設定する（このページ右側参照）
- ・ 新しいレイアウトを作成する（14 ページ参照）
- ・ サンプルを使ってレイアウトを作成する（15 ページ参照）



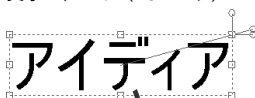
レイアウトの作成

レイアウトは、**フィールド**と呼ばれるパーツを組み合わせて作成します。

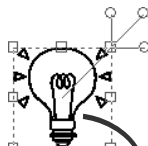
図形フィールド（37 ページ）



文字フィールド（26 ページ）



画像フィールド
（31 ページ）



レイアウト完成!

- ・ バーコードフィールド（2次元コード含む）もあります（40 ページ参照）。

接続機種を設定する

本ソフトで作成したレイアウトを、どの機種で印刷するのか設定します。



設定する機種によって、作成できるレイアウトのサイズは異なります。レイアウトの作成を始める前に必ず設定してください。

1 「ファイル(F)」メニューから「接続機種の設定(R) ...」をクリックする。

2 機種名、印刷先を設定する。

KL-E550 を設定する場合



ここをクリックすると機種が設定できます

- ・ KL-E550 の場合は、印刷先に「CASIO KL46H」を選択してください。

3 [OK] をクリックする。

新しいレイアウトを作成する

新しいレイアウトを作成する画面を開きます。

1 ツールバーの  をクリックする。

- または「ファイル (F)」メニューから「新規作成 (N)...」をクリックします。この場合は手順 3 に進んでください。
- 「新規／開く」画面が表示されます。

2 「新規作成」をクリックし、「OK」をクリックする。

- 「新規作成」をダブルクリックしても同じです。
- 「ラベルのプロパティ」画面が表示されます。



3 「ラベルの種類 (T)」ボックスから印刷するテープ幅を選択する。

プリンターに装着されたテープ幅を選択してください。

4 「ラベル長 (L)」ボックスで、ラベルの長さを設定する。

5 テープの幅以上のラベルを作るときには、「分割枚数 (P)」ボックスで、何枚に分割するかを設定する。

ラベル作成のヒント (67 ページ) をご覧ください。

6 「ラベルの余白」を設定する。

- 「余白」とは、ラベルの前後に付くスペースのことです。
- 「余白」は、機種または印刷時の設定によっては設定できません。
- 「余白」の設定によって送られるテープの長さは、印刷する機種により異なります。

機種	設定	大	中	小
KL-G2/KL-G1/KL-T100/ KL-T70/KL-T50/KL-M50/ KL-M40		約 19mm	約 10mm	約 3mm
KL-E550/KL-E500/ KL-V460/KL-V450		約 21mm	約 10mm	約 3mm

7 「ラベルの方向」を設定する。

- 「ラベルの方向」では、レイアウト作成画面を横置きで表示するか、縦置きで表示するかを指定します。縦置きのラベルを作成するときは、ラベル作成のヒント (67 ページ) をご覧ください。

8 「OK」をクリックする。

サンプルを使ってレイアウトを作成する

用途別に用意されたサンプルレイアウトを開きます。

1 ツールバーの  をクリックする。

「新規 / 開く」画面が表示されます。

2 [サンプルから作成] をクリックし、[OK] をクリックする。

- ・ [サンプルから作成] をダブルクリックしても同じです。
「サンプルレイアウトを開く」画面が表示されます。

3 用途や目的にあった分類名をクリックし、[次へ (F)] をクリックする。

- ・ 分類名をダブルクリックしても同じです。
ファイルを選ぶ画面が表示されます。

4 開きたいレイアウト名（ファイル名）をクリックして、[OK] をクリックする。

- 選択したレイアウトを編集する画面が表示されます。
 - ・ あらかじめ入力されている内容は架空のものです。実在する人物、団体等とは関係ありません。

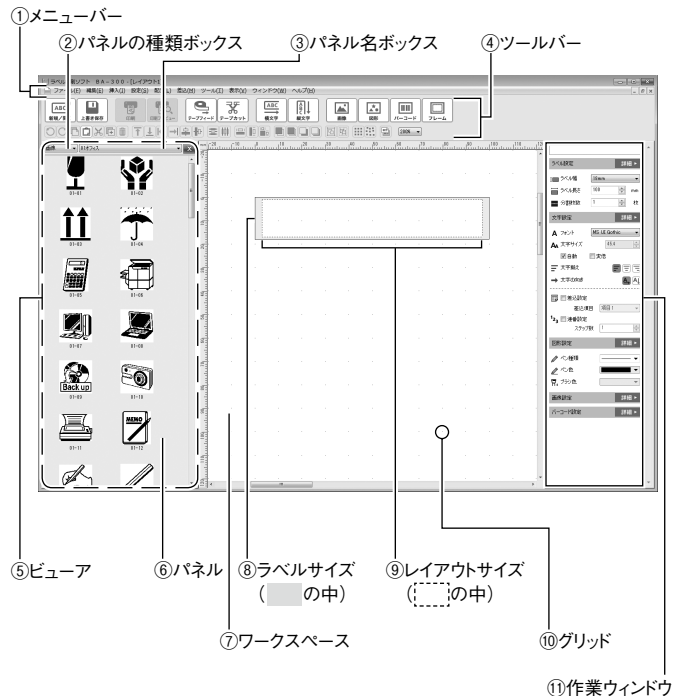
編集中にレイアウトの設定を変更するには

下記のいずれかの方法をお使いください。

- ・ 「設定 (S)」メニューから「ラベル (L) ...」をクリックして、各項目を設定します。
- ・ 作業ウィンドウ (21 ページ) に表示されている各項目を、直接、設定します。
- ・ ラベルの長さは、画面に表示されたラベルの右端をドラッグして変更することもできます。

レイアウト作成画面について

レイアウト作成画面について説明します。



①メニューバー (17 ページ参照)

②パネルの種類ボックス

パネルに表示されているフィールドの種類が表示されます。

③パネル名ボックス

パネルに表示されているフィールドの分類が表示されます。

④ツールバー (20 ページ参照)

⑤ビューア

「パネルの種類ボックス」「パネル名ボックス」「パネル」の総称です。

- ・ビューアが表示されていないときは、「表示 (V)」メニューから「ビューア (V)」をクリックすると表示されます。

⑥パネル (29・31・37 ページ参照)

登録されているフィールドが表示されます。

⑦ワークスペース

レイアウトを作成する領域です。

⑧ラベルサイズ

実際に作成されるラベルの大きさです。

⑨レイアウトサイズ

印刷可能範囲です。フィールドはこの中に収まるように配置してください。

⑩グリッド (22 ページ参照)

ワークスペース上に一定間隔で並んだ点（ドット）または線です。フィールドのサイズや配置を決めるときの目安にすると便利です。

⑪作業ウィンドウ (21 ページ参照)

メニューバーについて

メニューバーのプルダウンメニューについて説明します。

プルダウンメニュー

プルダウンメニューから、マウスで操作します。

メニュー	機能
■「ファイル (F)」メニュー	
「新規作成 (N) ...」	新規レイアウトを作成する。
「開く (O) ...」	レイアウト（ファイル）を開く。
「閉じる (C)」	編集中のレイアウトを閉じる。
「上書き保存 (S)」	レイアウトを上書き保存する。
「名前を付けて保存 (A) ...」	レイアウトに新しく名前を付けて保存する。
「ラベルプリンターで印刷 (P) ...」	編集中のレイアウトを印刷する。
「ラベルプリンターで差込印刷 (M) ...」	編集したレイアウトに自動的にデータを差し込んで印刷する。
「テープフィード (F)」	テープ送りをする。
「テープカット (T)」	テープをカットする。
「印刷プレビュー (V) ...」	編集中のレイアウトの印刷イメージを表示する。
「差込プレビュー (G) ...」	編集中のレイアウトに実際に差し込まれた状態を表示する。[OK] をクリックすると、その状態の文字が実際に差し込まれる。

メニュー	機能
「連番プレビュー (B) ...」	連番機能を使って編集中のレイアウトの印刷イメージを表示する。
「接続機種の設定 (R) ...」	接続する機種などを設定する。
「1 XXXX.lvy」	以前に開いたレイアウトを開く。
「アプリケーションの終了 (X)」	本ソフトを終了する。
■「編集 (E)」メニュー	
「元に戻す (U)」	直前の状態に戻す。
「やり直し (R)」	直前に元に戻した状態をやり直す。
「切り取り (T)」	選択されたフィールドをカットする。
「コピー (C)」	選択されたフィールドをコピーする。
「貼り付け (P)」	コピー、カットしたフィールドを貼り付ける。
「削除 (A)」	選択されたフィールドを削除する。
「複製 (D)」	選択されたフィールドをもう 1 つ作成する。
「すべてを選択 (L)」	レイアウト上のすべてのフィールドを選択する。
■「挿入 (I)」メニュー	
「横文字 (H) ...」	横書きの文字フィールドを挿入する。
「縦文字 (V) ...」	縦書きの文字フィールドを挿入する。
「画像 (G) ...」	画像フィールドを挿入する。

メニュー	機能
「図形 (S) ...」	図形フィールドを挿入する。
「フレーム (F) ...」	フレームを挿入する。
「バーコード (B)」	バーコード (2次元コード) フィールドを挿入する。
「タイムスタンプ (T)」	タイムスタンプ (日時) を挿入する。
「オブジェクト (J) ...」	エクセルやワードなどのオブジェクトを挿入する。
「画面キャプチャー (C)」	パソコンに表示されている画面を取り込む。
■「設定 (S)」メニュー	
「文字 (T) ...」	文字のプロパティを設定する。
「画像 (G) ...」	画像のプロパティを設定する。
「図形 (S) ...」	図形のプロパティを設定する。
「バーコード (B)」	バーコードや2次元コードのプロパティを設定する。
「画面キャプチャー (C) ...」	画面キャプチャーのプロパティを設定する。
「ラベル (L) ...」	ラベルのプロパティを設定する。
「ワークスペース (W) ...」	ワークスペースのプロパティを設定する。
■「配置 (L)」メニュー	
「整列 (A)」	次の6つのメニューを表示する。
－「上揃え (T)」	選択されたフィールドを上端に揃える。

メニュー	機能
－「下揃え (B)」	選択されたフィールドを下端に揃える。
－「左揃え (L)」	選択されたフィールドを左端に揃える。
－「右揃え (R)」	選択されたフィールドを右端に揃える。
－「上下中央揃え (V)」	選択されたフィールドを水平方向の中心に揃える。
－「左右中央揃え (H)」	選択されたフィールドを垂直方向の中心に揃える。
「均等配置 (V)」	次の2つのメニューを表示する。
－「上下に整列 (V)」	選択されたフィールドを垂直方向に等間隔に配置する。
－「左右に整列 (H)」	選択されたフィールドを水平方向に等間隔に配置する。
「サイズ合わせ (S)」	次の3つのメニューを表示する。
－「幅 (W)」	選択されたフィールドの幅を同じサイズに設定する。
－「高さ (H)」	選択されたフィールドの高さを同じサイズに設定する。
－「幅と高さ (B)」	選択されたフィールドの幅と高さを同じサイズに設定する。
「前面へ移動 (R)」	選択されたフィールドを、1つ前に移動する。
「最前面へ移動 (F)」	選択されたフィールドを、一番前に移動する。
「背面へ移動 (K)」	選択されたフィールドを、1つ後ろに移動する。
「最背面へ移動 (B)」	選択されたフィールドを、一番後ろに移動する。

メニュー	機能
「グループ (G)」	選択されたフィールドを、1 つのグループにする。
「グループ解除 (U)」	選択されたグループを解除する。
「タイトル (T)」	選択されたフィールドをレイアウト上に背景としてマス目状に敷き詰めて並べる。
「タイトル解除 (L)」	タイトルを解除する。
■「差込 (M)」メニュー	
「差込サンプルレイアウト (S) ...」	差込用のサンプルレイアウトを開く。
「差込テキストボックス (T)」	編集中のレイアウトに差込設定済みのテキストボックスを貼り付ける。
「差込データ作成 / 編集 (E)」	差込用のデータベースを作成する。
「差込プレビュー (V)」	編集中のレイアウトに実際に差し込まれた状態を表示する。[OK] をクリックすると、その状態の文字が実際に差し込まれる。
「差込印刷 (P) ...」	編集したレイアウトに自動的にデータを差し込んで印刷する。
■「ツール (T)」メニュー	
「用紙複製 (C)」	レイアウトや選択されたフィールドを複製する。
■「表示 (V)」メニュー	
「ツールバー (T)」	ツールバーを表示 / 非表示にする。
「ビューア (V)」	ビューアを表示 / 非表示にする。
「作業ウィンドウ (K)」	作業ウィンドウを表示 / 非表示にする。
「ズーム (Z)」	次の 6 つのメニューを表示する。

メニュー	機能
－「400%」	ワークスペースを 400% で表示する。
－「300%」	ワークスペースを 300% で表示する。
－「200%」	ワークスペースを 200% で表示する。
－「100%」	ワークスペースを 100% で表示する。
－「75%」	ワークスペースを 75% で表示する。
－「50%」	ワークスペースを 50% で表示する。
■「ウィンドウ (W)」メニュー	
「重ねて表示 (C)」	複数のレイアウトを開いているときに、重ねて表示する。
「上下に並べて表示 (H)」	複数のレイアウトを開いているときに、上下に並べて表示する。
「左右に並べて表示 (T)」	複数のレイアウトを開いているときに、左右に並べて表示する。
「アイコンの整列 (A)」	ウィンドウの下部にアイコン化したレイアウトを整列する。
「すべてのウィンドウを閉じる (L)」	開いているすべてのレイアウトを閉じる。
「1 XXXX.lvv」	現在開いているレイアウトを選択してアクティブ化する。
■「ヘルプ (H)」メニュー	
「取扱説明書 (M)」	取扱説明書を表示する。
「カシオホームページ (C)」	カシオのホームページを表示する。
「最新の情報はこちら (L)」	最新の情報を掲載しているウェブページを表示する。
「バージョン情報 (A) ...」	バージョン情報を表示する。

レイアウト作成画面のツールバーなどについて

レイアウト作成画面のツールバー・作業ウィンドウ・グリッドについて説明します。

ツールバー

ツールアイコンをクリックすると、それぞれの機能に応じて、ウィンドウを表示することや操作を実行することができます。

- ツールバーが表示されていないときは、「表示(V)」メニューから「ツールバー (T)」をクリックすると表示されます。

ツールアイコン	機 能
	「新規／開く」画面を表示する。
	レイアウトを上書き保存する。
	編集中のレイアウトを印刷する。
	編集中のレイアウトの印刷イメージを表示する。
	テーブル送りをする。
	テーブルをカットする。
	横書きの文字フィールドを挿入する。
	縦書きの文字フィールドを挿入する。
	画像フィールドを挿入する。

ツールアイコン	機 能
	図形フィールドを挿入する。
	バーコード（2次元コード）フィールドを挿入する。
	フレームを挿入する。
	直前の状態に戻す。
	直前に元に戻した状態をやり直す。
	選択されたフィールドをコピーする。
	コピー、カットしたフィールドを貼り付ける。
	選択されたフィールドをカットする。
	選択されたフィールドをもう 1 つ作成する。
	選択されたフィールドを削除する。
	選択されたフィールドを上端に揃える。
	選択されたフィールドを下端に揃える。
	選択されたフィールドを左端に揃える。
	選択されたフィールドを右端に揃える。
	選択されたフィールドを垂直方向の中心に揃える。
	選択されたフィールドを水平方向の中心に揃える。

ツールアイコン	機 能
	選択されたフィールドを垂直方向に等間隔に配置する。
	選択されたフィールドを水平方向に等間隔に配置する。
	選択されたフィールドの幅を同じサイズに設定する。
	選択されたフィールドの高さを同じサイズに設定する。
	選択されたフィールドの幅と高さを同じサイズに設定する。
	選択されたフィールドを1つ前に移動する。
	選択されたフィールドを一番前に移動する。
	選択されたフィールドを1つ後ろに移動する。
	選択されたフィールドを一番後ろに移動する。
	選択されたフィールドを1つのグループにする。
	選択されたグループを解除する。
	選択されたフィールドをレイアウト上に背景としてマス目状に敷き詰めて並べる（タイル）。
	タイルを解除する。
	レイアウトや選択されたフィールドを複製する。
	表示倍率を設定する。

作業ウィンドウ

設定項目をクリックすると、それぞれの項目を変更できます。

- 接続機種を変更するときは、「接続機種を設定する」（13 ページ参照）をご覧ください。
- 作業ウィンドウが表示されていないときは、「表示（V）」メニューから「作業ウィンドウ（K）」をクリックすると表示されます。
- レイアウトによっては、設定を変更できない項目もあります。

① 接続機種	
② ラベル設定	ラベル設定 詳細 ▶
③ ラベル幅	ラベル幅 18mm
④ ラベル長さ	ラベル長さ 70 mm
⑤ 分割枚数	分割枚数 1 枚
⑥ 文字設定	文字設定 詳細 ▶
⑦ フォント	フォント MS UI Gothic
⑧ 文字サイズ	文字サイズ 45.4
	☒ 自動 ☐ 変倍
⑨ 文字揃え	文字揃え
⑩ 文字の向き	文字の向き
⑪ 差込設定	☒ 差込設定 差込項目 項目1
⑫ 連番設定	☐ 連番設定 ステップ数 1
⑬ 図形設定	図形設定 詳細 ▶
⑭ ペン種類	ペン種類
⑮ ペン色	ペン色
⑯ ブラシ色	ブラシ色
⑰ 画像設定	画像設定 詳細 ▶
⑱ バーコード設定	バーコード設定 詳細 ▶

①接続機種	「接続機種を設定する」で設定した機種名が表示される（13 ページ）。
②ラベル設定	「詳細」をクリックすると、「ラベルのプロパティ」画面が表示される。
③ラベル幅	ラベルの幅を設定する。
④ラベル長さ	ラベルの長さを設定する。
⑤分割枚数	複数枚のラベルを組み合わせて 1 つのレイアウトにする場合に、枚数を設定する。
⑥文字設定	「詳細」をクリックすると、「文字のプロパティ」画面が表示される。
⑦フォント	フォントを設定する。
⑧文字サイズ	文字サイズを設定する。[自動] をチェックすると、文字フィールドのサイズに合わせて文字サイズが自動調整される。この際、[変倍] もチェックすると、文字の縦横比も自動調整される。
⑨文字揃え	文字の配置（左揃え・中央揃え・右揃え）を設定する。
⑩文字の向き	文字の向き（横書き・縦書き）を設定する。
⑪差込設定	差込印刷するかどうか、また、差込印刷する場合は差込項目を設定する。
⑫連番設定	連番印刷するかどうか、また、連番印刷する場合はステップ数を設定する。
⑬図形設定	「詳細」をクリックすると、「図形のプロパティ」画面が表示される。
⑭ペン種類	図形の線の種類を設定する。
⑮ペン色	図形の線の色を設定する。
⑯ブラシ色	図形のブラシの色を設定する。
⑰画像設定	「詳細」をクリックすると、「画像のプロパティ」画面が表示される。

⑱バーコード設定

「詳細」をクリックすると、バーコードや 2 次元コードの種類を選ぶメニューが表示される。バーコードや 2 次元コードの種類をクリックすると、対応する「バーコードのプロパティ」画面が表示される。

グリッドの表示

ワークスペース上に、一定間隔で並んだ点(ドット)または線をグリッドといいます。グリッドは、間隔を変えることや非表示にすることができます。

1 「設定 (S)」メニューから「ワークスペース (W) ...」をクリックする。



2 各項目を設定する。

3 [OK] をクリックする。

キーを使った操作について

キーボードから操作できることを説明します。

- このページでは、2つのキーを同時に押すことを「+」で表現しています。

例：[Ctrl] キーと [A] キーをいっしょに押すとき
→ 「[Ctrl] + [A] キー」と表現しています。

ショートカットキー

キーボードから、ショートカットキーで操作します。

キー	機 能
[Delete]	選択されたフィールドを削除する。
[Ctrl]+[A]	レイアウト上のすべてのフィールドを選択する。
[Ctrl]+[D]	選択されたフィールドをもう 1 つ作成する。
[Ctrl]+[N]	新規レイアウトを作成する。
[Ctrl]+[O]	レイアウトを開く。
[Ctrl]+[P]	編集中のレイアウトを印刷する。
[Ctrl]+[S]	レイアウトを上書き保存する。
[Ctrl]+[X]	選択されたフィールドをカットする。
[Ctrl]+[C]	選択されたフィールドをコピーする。
[Ctrl]+[V]	コピー、カットしたフィールドを貼り付ける。
[Ctrl]+[Z]	直前の状態に戻す。
[Ctrl]+[+]	表示をズームインする。
[Ctrl]+[-]	表示をズームアウトする。

キーによるフィールドの移動

キー操作でフィールドを移動することができます。

- フィールドを選択するときは、そのフィールドをクリックします。

キー	機 能
[↑]	選択されたフィールドを、上方向へ細かく移動する。
[↓]	選択されたフィールドを、下方向へ細かく移動する。
[←]	選択されたフィールドを、左方向へ細かく移動する。
[→]	選択されたフィールドを、右方向へ細かく移動する。
[Ctrl] + [↑]	選択されたフィールドを上方向へ移動する。
[Ctrl] + [↓]	選択されたフィールドを下方向へ移動する。
[Ctrl] + [←]	選択されたフィールドを左方向へ移動する。
[Ctrl] + [→]	選択されたフィールドを右方向へ移動する。
[Tab]	次のフィールドを選択する。
[Shift] + [Tab]	前のフィールドを選択する。
[Home]	選択されたフィールドをレイアウトの左端に移動する。
[End]	選択されたフィールドをレイアウトの右端に移動する。
[Ctrl]+[Home]	選択されたフィールドをレイアウトの左上端に移動する。
[Ctrl]+[End]	選択されたフィールドをレイアウトの右下端に移動する。

フィールドについて

レイアウトを構成するパーツのことを、**フィールド**といいます。
ここでは、各フィールドの特徴と、フィールドに共通の操作を説明します。

4つのフィールド

■フィールドの種類

文字・画像・図形・バーコードや2次元コードを挿入すると、それらは「文字フィールド」「画像フィールド」「図形フィールド」「バーコードフィールド」に囲まれてレイアウトに挿入されます。

文字フィールド：入力した文字を囲むフィールドです。

画像フィールド：画像を囲むフィールドです。

図形フィールド：図形を囲むフィールドです。

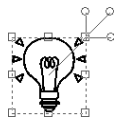
バーコードフィールド：バーコードや2次元コードを囲むフィールドです。

フィールドは、選択すると、下記のように薄いグレーの四角形で表現されます。この四角形は、実際には印刷されません。

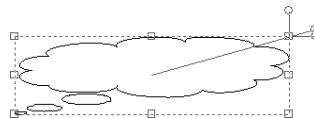
文字フィールド



画像フィールド



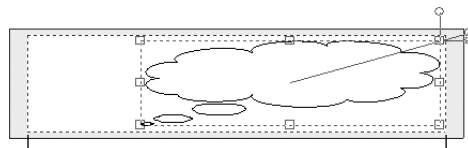
図形フィールド



バーコードフィールド



重要 フィールドは、レイアウトサイズ内に収まるように配置してください。収まらない部分は、印刷されません。



レイアウトサイズ (---の中)

■画像と図形の違いについて

本ソフトでは、「画像」と「図形」を次のように区分しています。

画像：ペイント系のソフトで描かれたイラストや、デジタルカメラやホームページなどから取り込んだ画像データなどのことです。

本ソフトにあらかじめ登録されている画像の他に、ご自分で用意した画像やパソコンで表示している画面も取り込むことができます。

図形：四角形や星印、矢印など、よく使う図形のことです。本ソフトにあらかじめ登録されています。

■フィールドの選択について

文字フィールド：文字の上をクリックしてください。



文字フィールドを選択できる



文字フィールドを選択できない

画像 / 図形 / バーコードフィールド：

フィールド内をクリックしてください。

共通の操作

4 つのフィールドで共通の操作を説明します。

- フィールドを選択するときは、そのフィールドをクリックします。
画面上で重なったフィールドを選択するときは、[Tab] キーを押してフィールドを切り替えて、選択します。

フィールドの移動

フィールドをドラッグします。

フィールドの削除

フィールドを選択してから、[Delete] キーを押します。

フィールド内の文字・画像・図形・バーコード（2 次元コード）の修正・差し替え

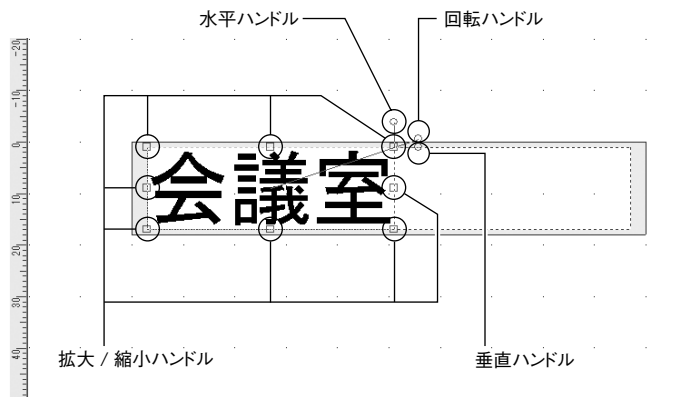
フィールドをダブルクリックすると、修正・差し替えする画面が表示されます。

パネルからの挿入

パネルに表示されている文字・画像・図形をワークスペースにドラッグすると、それぞれのフィールドに囲まれて挿入されます。

フィールドの形・サイズの調整

フィールドの形・サイズを調整すると、フィールドの形に合わせて、フィールド内の文字・画像・図形の形やサイズも調整されます。



- 拡大 / 縮小ハンドルをドラッグすると、フィールドのサイズを調整できます。図形の直線は、[Shift] キーを押しながら操作すると、角度を維持したまま長さを調整できます。
- 回転ハンドルをドラッグすると、フィールドの角度を調整できます。[Shift] キーを押しながら操作すると、15 度単位で回転できます。
- 水平ハンドルをドラッグすると、フィールドが水平方向に斜めになります。
- 垂直ハンドルをドラッグすると、フィールドが垂直方向に斜めになります。



重要！ バーコードフィールドは回転できません。また、2 次元コードが入っているバーコードフィールドは拡大 / 縮小もできません。

文字を挿入する

レイアウトに文字を入れる方法を説明します。

レイアウト作成画面が表示されていることを確認してください。

- レイアウト作成画面の表示については「レイアウト作成画面について」(16 ページ) をご覧ください。

1 ツールバーの または をクリックする。

- ここでは  をクリックしたときの操作を例に説明します。

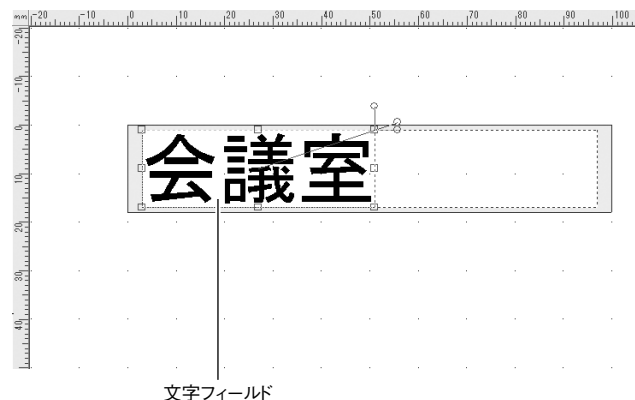


2 文字列を入力する。

- 文字列に入力可能な文字数は 255 文字です。
- フォントや文字サイズを指定できます。
- 「自動」にチェックを入れると、文字フィールドの大きさに合わせて文字サイズが自動調整されます。合わせて「変倍」にもチェックを入れると、文字の縦横比も含めて自動調整されます。
- 文字サイズをポイントで指定する場合は、「自動」のチェックを外してください。
- 文字の縦横比を変えたくない場合は、「変倍」のチェックを外してください。

3 [OK] をクリックする。

入力した文字は、文字フィールドに囲まれて、レイアウトに挿入されます。



文字を修正・編集・削除する

文字フィールド内の文字の修正、文字フィールドの編集・サイズと角
度の調整・削除について説明します。

- フィールドの詳細については「フィールドについて」(24 ページ)
をご覧ください。

フィールド内の文字を修正する

文字フィールド内の文字を、入力し直すことができます。

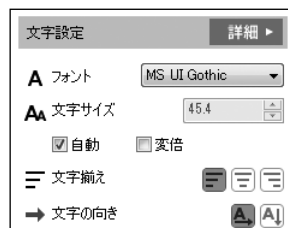
- 1 文字の上をダブルクリックする。
「文字の挿入」画面が表示されます。
- 2 文字を入力し直す。
- 3 [OK] をクリックする。

フィールド内の文字を編集する

挿入した文字のフォントを変えることや、文字列の形を変えることが
できます。編集は、フィールド内のすべての文字が対象となります。

- 1 編集する文字の上をクリックする。
 - 文字フィールドをクリックしないで編集すると、設定した内容は、
これ以降に挿入するすべての文字フィールドに反映されます。

- 2 作業ウィンドウ (21 ページ) の「文字設定」で各項目を設定
する。



- 「文字のプロパティ」画面で設定する
- 1 編集する文字の上をクリックする。

- 文字フィールドをクリックしないで編集すると、設定した内容は、
これ以降に挿入するすべての文字フィールドに反映されま
す。

2 作業ウィンドウ (21 ページ) の「文字設定」の「詳細」をクリックする。

- ・「設定 (S)」メニューから「文字 (T) ...」をクリックしても同じです。



3 各項目を設定する。

4 [OK] をクリックする。

文字のサイズと角度を調整する

文字フィールドのサイズや角度を調整すると、フィールド内の文字のサイズや角度を調整することができます。

- ・調整の操作については「共通の操作」(25 ページ) をご覧ください。

文字フィールドを削除する

1 削除したい文字の上をクリックする。

2 ツールバーの をクリックする。

- ・ [Delete] キーを押しても同じです。文字フィールドが削除されます。

よく使う文字を簡単に入力する

文字を文字パネルに登録しておけば、何度も繰り返し使うことができます。

ここでは、「文字パネルへの文字の登録」「文字パネルからの文字の挿入」「文字パネルからの文字の削除」について、説明します。

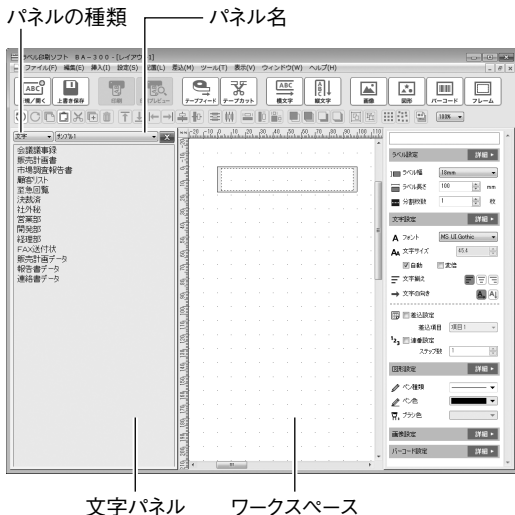
よく使う文字は、**文字パネル**に登録することができます。また、登録した文字は、**ドラッグするだけでレイアウトに挿入**できます。

文字パネルへ登録する

■ポップアップメニューから文字を登録する

- ・ビューアが表示されていないときは、あらかじめ「表示 (V)」メニューから「ビューア (V)」をクリックして表示しておいてください。

1 「パネルの種類」を「文字」にする。



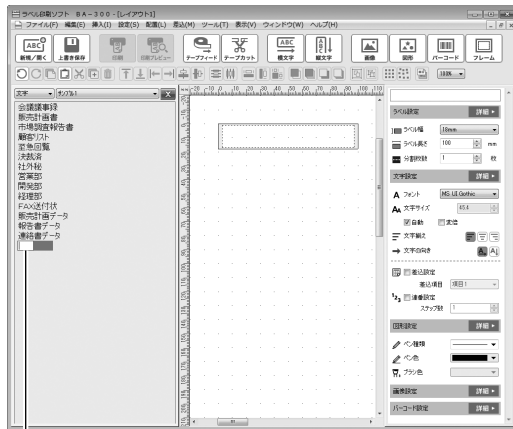
2 「パネル名」を選ぶ。

3 文字パネルの上で右クリックする。

ポップアップメニューが表示されます。



4 「追加 (N)」をクリックする。



文字入力ボックス

5 文字を入力する。

文字入力ボックスに、表示されます。

よく使う文字を簡単に入力する

文字

6 [Enter] キーを押す。

パネルに、入力した文字が表示されます。

■ワークスペース上から文字を登録する

パネルに登録する文字を、あらかじめワークスペース上に挿入しておいてください。

1 「パネルの種類」を「文字」にする。

文字パネルが表示されます。

2 「パネル名」を選んで、文字を登録するパネルを表示する。

表示されたパネルに、文字は登録されます。

3 登録する文字を、[Alt] キーを押した状態でワークスペース上から文字パネルまでドラッグする。

ドラッグした文字が文字パネルに表示されて、登録されたことを示します。

パネルから文字を挿入する

パネルの文字は1行単位で挿入できます。

1 「パネルの種類」を「文字」にする。

文字パネルが表示されます。

2 「パネル名」を選ぶ。

3 挿入する文字を、ワークスペースの上にドラッグする。

文字フィールドに囲まれて、文字が挿入されます。

文字パネルから文字を削除する

1 「パネルの種類」を「文字」にする。

文字パネルが表示されます。

2 「パネル名」を選ぶ。

3 削除する文字を右クリックする。

ポップアップメニューが表示されます。

4 [削除 (A)] をクリックする。

画像を挿入する

本ソフトには、イラスト（画像）があらかじめ登録されています。これらの画像や、ご自分で作成した画像などを、レイアウトに挿入することができます。また、パソコンの画面上の画像を取り込む（キャプチャーする）こともできます。

画像を挿入する方法には、3 つあります。

- ・ パネルから画像を挿入する
- ・ ファイル名を指定して画像を挿入する
- ・ パソコンの画面を取り込む（キャプチャー）

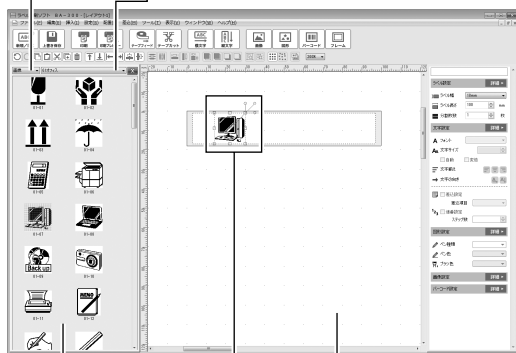
パネルから画像を挿入する

ご自分で作成した画像をパネルに表示させることもできます。

- ・ ビューアが表示されていないときは、あらかじめ「表示 (V)」メニューから「ビューア (V)」をクリックして表示しておいてください。

1 「パネルの種類」を「画像」にする。

パネルの種類 パネル名



画像パネル

画像フィールド

ワークスペース

2 「パネル名」を変更して、挿入する画像を表示させる。

パネル名を変更すると、パネルに表示される画像が変更されます。

3 挿入する画像を、ワークスペースにドラッグする。

ドラッグした画像は、画像フィールドに囲まれて挿入されます。

ファイル名を指定して画像を挿入する

重要 挿入することができる画像は、下記のファイル形式のものです。



BMP、JPEG、PNG

1 ツールバーの をクリックする。

- ・ 「挿入 (I)」メニューから「画像 (G)...」をクリックしても同じです。

2 挿入する画像のファイル名を指定する。

3 [開く (O)] をクリックする。

指定した画像は、画像フィールドとして挿入されます。

画像を挿入する

画像

パソコンの画面を取り込む（キャプチャー）

パソコンに表示されている画面を取り込んで、画像データとして利用することができます。

注意

Windows 10/Windows 7 SP1 では、Aero を有効にしていると正しく取り込めないことがあります。

1 本ソフトのタイトルバーのをクリックする。

本ソフトが最小化されます。

ここをクリック



2 取り込みたい画面を表示する。

3 Windows のタスクバーの (BA-300) をクリックする。

本ソフトが元のサイズに戻ります。



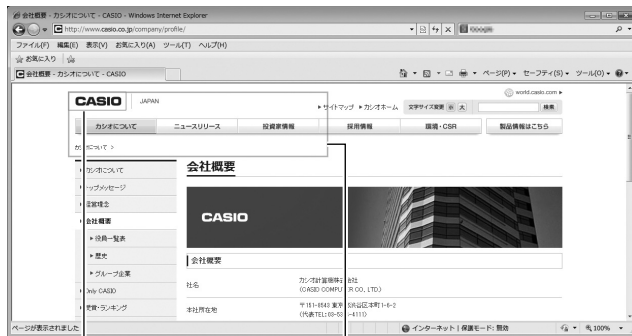
ここをクリック

4 「挿入 (I)」メニューから「画面キャプチャー (C)」をクリックする。

本ソフトが最小化されます。

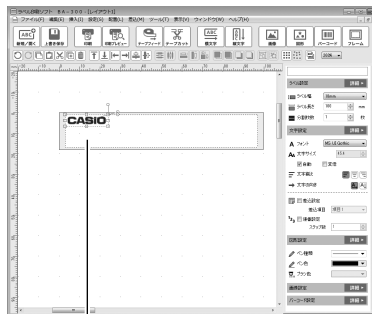
- キャプチャーを取り消すときは、[Esc] キーを押します。

5 取り込みたい範囲の左上から右下までをドラッグする。



ドラッグした範囲が
四角で囲まれます。

レイアウトサイズに相当する範囲が、
ガイドラインとして表示されます。



ドラッグした範囲が、ラベルに取り込まれます。

- キャプチャーした範囲は、画像データとして取り込まれます。
- ガイドラインを越えた範囲までドラッグしたときは、キャプチャー後に、通常の画像と同じようにしてサイズを変更してください (25 ページ)。

画像を差し替える・編集する

画像の差し替え、画像フィールドのサイズと角度の調整・削除を説明します。

- フィールドの詳細については「フィールドについて」(24 ページ)をご覧ください。

フィールド内の画像を差し替える

画像フィールド内の画像を、別の画像に差し替えることができます。

1 画像フィールドをダブルクリックする。

「画像の挿入」画面が表示されます。

2 挿入する画像のファイル名を設定する。

3 「開く (O)」をクリックする。

画像のサイズと角度を調整する

画像フィールドのサイズや角度を調整すると、フィールド内の画像のサイズや角度を調整することができます。

- 調整の操作については「共通の操作」(25 ページ)をご覧ください。

画像フィールドを削除する

1 削除したい画像フィールドをクリックする。

2 ツールバーの  をクリックする。

- [Delete] キーを押しても同じです。
画像フィールドが削除されます。

画像のモノクロ化を設定する

カラーの画像データを挿入すると、データはモノクロ（1色）になり、カラーはモノクロの濃淡で表現されます。
この濃淡の表現方法を設定できます。

1 「ファイル(F)」メニューから「接続機種の設定(R)...」をクリックする。

「ラベルプリンタのプロパティ」が表示されます。

2 「モノクロ」タブをクリックする。



3 モノクロ化の方法を設定する。

どのように印刷されるのか、白地に黒文字のテープをセットしている場合を例にして、説明します。

近似色



明るい色は白く、暗い色は黒くなります。線だけで描いたイラストや文字だけのデータを印刷するときに、向いています。

パターン



カラー写真をコピーしたときのように、濃い色は黒っぽく、薄い色は白っぽく印刷されます。

誤差拡散



カラー写真をコピーしたときのように、濃い色は黒っぽく、薄い色は白っぽく印刷されます。「パターン」よりも印刷に時間がかかりますが、より美しく印刷されます。

- 濃淡 (I) のスライダーをドラッグして、挿入した画像の濃淡を調整します（近似色を選択した場合は調整不要です）。

4 [OK] をクリックする。

印刷すると、設定した方法でモノクロになります（ワークスペース上では、変化しません）。

画像をパネルへ登録する・削除する

画像を画像パネルに登録しておけば、何度でも繰り返し使うことができます。

ここでは、「画像パネルへの画像の登録」と「画像パネルからの画像の削除」について、説明します。

よく使う画像は、画像パネルに登録することができます。また、登録した画像は、あらかじめ登録してあった画像と同じように、**ドラッグするだけでレイアウトに挿入**できます。

画像をパネルへ登録する

パネルに登録する画像を、あらかじめワークスペース上に挿入しておいてください。

・ビューアが表示されていないときは、あらかじめ「表示 (V)」メニューから「ビューア (V)」をクリックして表示しておいてください。

1 「パネルの種類」を「画像」にする。

画像パネルが表示されます。

2 「パネル名」を選んで、画像を登録するパネルを表示する。

表示されたパネルに、画像は登録されます。

3 登録する画像を、[Alt] キーを押した状態でワークスペース上から画像パネルまでドラッグする。

4 「新規ビットマップ」と表示された部分をクリックして選び、もう一度クリックする。

画像の名称が入力できるようになります。

5 画像の名称を入力し、[Enter] キーを押す。

これで、画像の登録が終了しました。

画像パネルから画像を削除する

画像パネルに登録されている画像は、画像の下に表示されている名称でパソコンにファイルとして保存されています。

パネル名

これがファイル
名となります



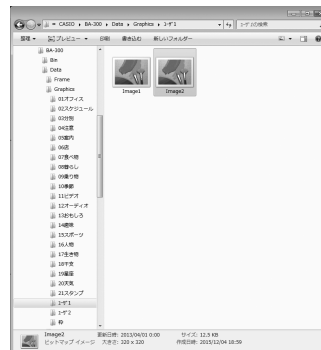
画像パネルから画像を削除するときは、パネル名のフォルダの中から画像ファイルを削除します。

1 本ソフトを終了させる。

2 エクスプローラなどで、画像を登録してあるフォルダを開く。

サンプル画像は「C:\¥Program Files (x86)\¥CASIO¥BA-300¥Data¥Graphics¥ (パネル名)」の中に登録されています。「BA-300」よりも上のフォルダは、BA-300 をインストールしたフォルダによって異なります。

例 「ユーザ 1」というパネルから削除するとき



3 削除するファイルを「ごみ箱」アイコンにドラッグする。

本ソフトを起動すると、削除した画像は表示されなくなります。

画像をパネルへ登録する・削除する

画像

画像パネルを追加できます

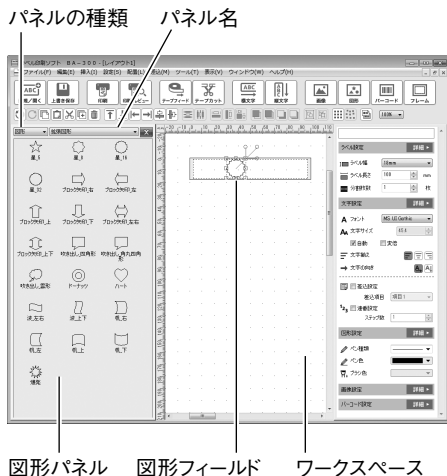
画像パネルは、ご自分で追加することもできます。この場合、画像ファイルは、ご自分で指定したフォルダ（画像パネルのフォルダ）の中に存在しています。

図形を挿入する

本ソフトには、基本的な図形があらかじめ登録されています。この図形は、簡単にレイアウトに挿入することができます。

- ビューアが表示されていないときは、あらかじめ「表示 (V)」メニューから「ビューア (V)」をクリックして表示しておいてください。

1 「パネルの種類」を「図形」にする。



2 「パネル名」を変更して、挿入する図形を表示させる。

パネル名を変更すると、パネルに表示される図形が変更されます。

3 挿入する図形を、ワークスペースにドラッグする。

ドラッグした図形は、図形フィールドに囲まれて挿入されます。

- 下記のようにして、図形を挿入することもできます。

1. ツールバーの  をクリックする。
 - 「挿入 (I)」メニューから「図形 (S) ...」をクリックしても同じです。
2. 「図形の種類」を選択する。
3. 挿入する図形をクリックする。
4. [OK] をクリックする。

図形を差し替える・編集する

図形の差し替え・図形の線や色などの変更・図形フィールドのサイズと角度の調整・削除を説明します。

- ・フィールドの詳細については「フィールドについて」(24 ページ)をご覧ください。

フィールド内の図形を差し替える

図形フィールド内の図形を、別の図形に差し替えることができます。

1 図形フィールドをダブルクリックする。

「図形の挿入」画面が表示されます。

2 挿入する図形をクリックする。

3 [OK] をクリックする。

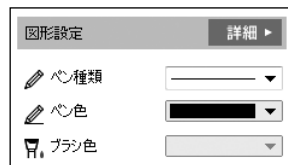
フィールド内の図形を編集する

挿入した図形の線の太さを変えることや、色を変えることができます。

1 編集する図形の上をクリックする。

- ・図形フィールドをクリックしないで編集すると、設定した内容は、これ以降に挿入するすべての図形フィールドに反映されます。

2 作業ウィンドウ (21 ページ) の「図形設定」で各項目を設定する。



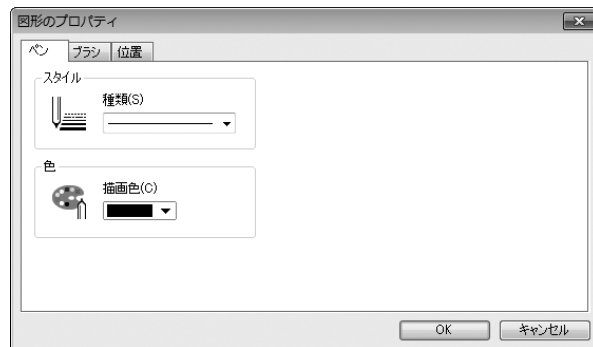
■「図形のプロパティ」画面で設定する

1 編集する図形フィールドをクリックする。

- ・図形フィールドをクリックしないで編集すると、設定した内容は、これ以降に挿入するすべての図形フィールドに反映されます。

2 作業ウィンドウ (21 ページ) の「図形設定」の「詳細」をクリックする。

- ・「設定 (S)」メニューから「図形 (S) ...」をクリックしても同じです。



3 各項目を設定する。

4 [OK] をクリックする。

図形のサイズと角度を調整する

図形フィールドのサイズや角度を調整すると、フィールド内の図形のサイズや角度を調整することができます。

- 調整の操作については「共通の操作」(25 ページ) をご覧ください。

図形フィールドを削除する

1 削除したい図形フィールドをクリックする。

2 ツールバーの  をクリックする。

- ・ [Delete] キーを押しても同じです。
図形フィールドが削除されます。

バーコードや2次元コードを挿入する

レイアウトにバーコードや2次元コードを入れる方法を説明します。

レイアウト作成画面が表示されていることを確認してください。

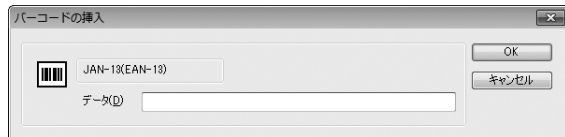
- レイアウト作成画面については「レイアウト作成画面について」(16ページ)をご覧ください。

1 ツールバーの をクリックする。

- 「挿入 (I)」メニューから「バーコード (B)」をクリックしても同じです。
- 作成できるバーコードと2次元コードの一覧が表示されます。

2 規格を選ぶ。

- 対応しているバーコードと2次元コードは、次の通りです。
JAN-13(EAN-13), JAN-8(EAN-8), UPC-A, UPC-E, ITF, CODE39, NW-7(CODABAR), CODE128, GS1-128, GS1 Databar, QR Code, PDF417, Data Matrix

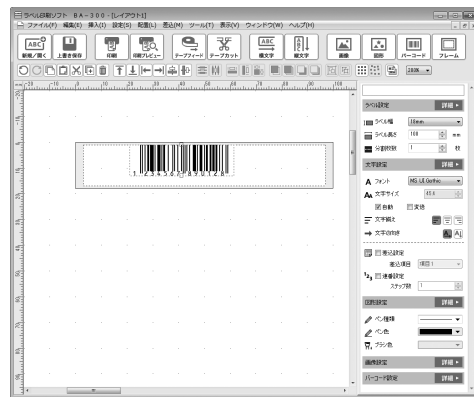


3 各種設定を行い、数字や文字を入力する。

- 規格によってはコントロールコードなどが入力できます。
- 設定項目は規格によって異なります。

4 「OK」をクリックする。

入力したバーコードや2次元コードは、バーコードフィールドに囲まれて、レイアウトに挿入されます。



■バーコードや2次元コードの印刷について

- 印刷したバーコードや2次元コードは、正確に読み取れるかどうか確認してからご使用ください。正確に読み取れないときは、以下の調節をしてください。
印刷濃度を薄くする (63 ~ 65 ページ)
サイズを大きくする (41 ~ 42 ページ)
- 印刷に適したテープは、次のとおりです。
白テープに黒文字 (WE) ※
白テープに青文字 (WEB) ※
黄色テープに黒文字 (YW) ※
※ () 内はテープの型番です。
- バーコードフィールドの位置は、バーコードフィールドの左端がテープの左端から 21mm 以上 (KL-E550/KL-E500/KL-V460/KL-V450 の場合は 26mm 以上) になるようにしてください。

バーコードや2次元コードを修正・編集・削除する

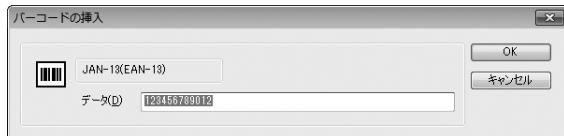
バーコードフィールド内の文字や数字の修正と、バーコードフィールドの設定・削除を説明します。

- フィールドの詳細については「フィールドについて」(24 ページ)をご覧ください。

フィールド内の文字や数字を修正する

バーコードフィールド内の文字を、入力し直すことができます。

1 バーコードフィールドをダブルクリックする。



2 文字や数字を入力し直す。

3 [OK] をクリックする。

バーコードの設定を編集する

挿入したバーコードの設定を変えることができます。



- バーコードフィールドは、回転できません。
- 一度挿入されたバーコードフィールドは、規格を変更できません。規格を変更したい場合は、バーコードフィールドを一旦削除して、新たに挿入し直してください。

1 編集するバーコードフィールドをクリックする。

2 作業ウィンドウ (21 ページ) の「バーコード設定」の【詳細】をクリックする。

- 「設定(S)」メニューから「バーコード(B)」をクリックし、編集するバーコードと同じコードの種類を選択しても同じです。

「一般」「位置」
タブ タブ



3 「一般」タブの各項目を設定する。

- ・ 差込印刷をする場合には、「☐ 差込印刷をする (M)」にチェックを入れ、差込項目ボックスで差込用データベースの項目を設定します（データベースのセルには、バーコードの規格に合った文字や数字を入力しておきます）。
- ・ 項目の設定については「差込用データベースを作成する」(47 ページ) をご覧ください。

4 「位置」タブをクリックする。



5 「位置」タブの各項目を設定する。

6 [OK] をクリックする。

バーコードフィールドを削除する

1 削除したいバーコードフィールドをクリックする。

2 ツールバーの をクリックする。

- ・ [Delete] キーを押しても同じです。バーコードフィールドが削除されます。

フレームを挿入する

本ソフトには、フレームがあらかじめ登録されています。それらのフレームをレイアウトに挿入することができます。

フレームを挿入する方法は次の2つがあります。

- ・ ツールバーの  をクリックしてフレームを選ぶ。
- ・ パネルから画像としてフレームを挿入する（31 ページ参照）。

ここでは、ツールバーの  をクリックしてフレームを挿入する手順を説明します。

1 ツールバーの をクリックする。

- ・ 「挿入 (I)」メニューから「フレーム (F) ...」をクリックしても同じです。
- ラベルのサイズや向きに合わせたフレームが表示されます。

2 挿入するフレームをクリックする。

3 [OK] をクリックする。

- ・ フレームを差し替えるときは、手順1 からやり直してください。
- ・ フレームを削除するときは、「フレームを挿入する」の手順2 で「フレームなし」を選択します。

- ・ ツールバーの  をクリックして挿入したフレームは、角度の調整などの編集はできません。
 - ・ パネルから画像として挿入したフレームは、他の画像フィールドと同様に編集できます（33 ページ参照）。

日付や時刻（タイムスタンプ）を挿入する

レイアウトを作成している日付や時刻を、指定した形式でレイアウトに挿入することができます。

1 「挿入 (I)」メニューから [タイムスタンプ (T)] をクリックする。

挿入できる日付や時刻の一覧が表示されます。

2 挿入する日付や時刻をクリックする。

日付や時刻が文字フィールドとして挿入されます。

- ・ 挿入した日付や時刻は、通常の文字フィールドと同様に編集できます（27 ページ参照）。

オブジェクトを挿入する

エクセルやワードなどのオブジェクトを挿入することができます。

1 「挿入(I)」メニューから「オブジェクト(J)…」をクリックする。

挿入できるオブジェクトの一覧が表示されます。

2 「新規作成(N)」もしくは「ファイルから作成(F)」のどちらかを選択して、チェックボックスにチェックを入れる。

- ・「新規作成」を選んだ場合は、オブジェクト一覧の中から挿入したいオブジェクトを選択します。
- ・「ファイルから作成」を選んだ場合は、[参照(B)...] ボタンをクリックして、挿入したいファイルを選択します。

3 [OK] をクリックする。

フィールドを配置する・サイズを合わせる

複数のフィールドを整列させたりサイズを同じにするなど、フィールドを揃えることができます。また、文字フィールドと画像フィールドのサイズを同じにするなど、異なる種類のフィールドでも、揃えることができます。

フィールドの配置・サイズ合わせとは

1 つのフィールドを基準にして、複数のフィールドを上下左右に整列させることや、サイズを同じにすることができます。

例 1：上に揃えて整列したとき



整列すると…

例 2：サイズ合わせをしたとき



基準フィールド

サイズ合わせ
をすると…

- ・フィールドをひとつだけ選択した状態で整列すると、レイアウトの端に移動できます。たとえば、上揃えの場合、選択したフィールドがレイアウトの上端に移動します。

フィールドを選択する

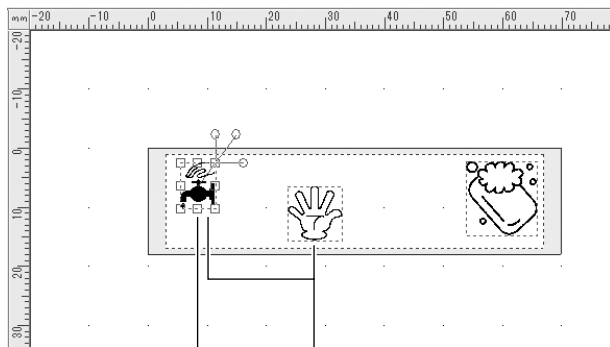
整列の場合は、選択したフィールドの位置関係で、基準となるフィールドが決まります。たとえば、上揃えの場合、選択したフィールドの中で最も上側にあるフィールドが基準となります。

サイズの場合は、最初にサイズ合わせをするフィールドを選択します。そのあと、サイズ合わせの基準となるフィールドを選択します。

1 揃えるフィールドをすべて囲むようにドラッグする。または、選択するフィールドを、[Shift] キーを押しながらすべてクリックする。

選択されたフィールドは、グレーの四角形で囲まれます。また、ハンドルが表示されているフィールドが、現在の基準フィールドとなっています。

重要 一部でもドラッグの外に出ているフィールドは選択されません。注意してドラッグしてください。



基準となるフィールド
(ハンドルのあるフィールド)

選択されたフィールド

2 [Ctrl] キーを押しながら、基準とするフィールドをクリックする。

クリックしたフィールドにハンドルが表示され、基準フィールドとなります。

フィールドを配置する・サイズ合わせをする

フィールドを選択したら、フィールドの整列・サイズ合わせをします。

1 フィールドの整列・サイズ合わせをします。

「配置 (L)」メニューやアイコンで、フィールドの整列・サイズ合わせをします。

- ・「配置 (L)」メニュー (18 ~ 19 ページ)
- ・ツールバー (ツールアイコン) (20 ~ 21 ページ)

2 選択されているフィールド以外の場所をクリックする。

選択が解除されます。

差込機能について

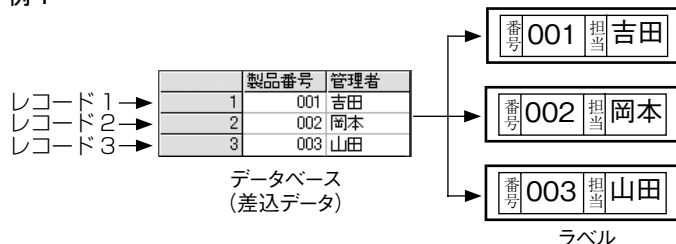
同じフォーマットを使い、その中の文字、バーコードまたは2次元コードだけを入れ替えながら複数枚のラベルを連続して作ることができる機能です。

資産管理ラベルを作るときなどに便利です。

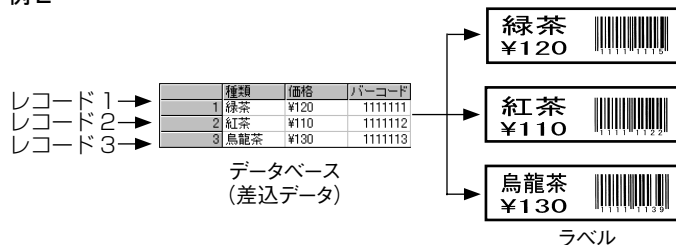
差込機能とは

データベースに登録したデータを利用して、同じフォーマットで文字、バーコードまたは2次元コードが違うラベルを複数枚作成する機能です。

例 1



例 2



操作の流れ

ここでは操作の流れを説明します。実際の操作方法については次のページから説明しています。

- ① 差込データベースツールを使って、差込データを作成する。



- ② 印刷するラベルのフォーマットを作成する。



- ③ 差込データを挿入する文字フィールド／バーコードフィールド（2次元コード含む）を作成する。



- ④ 作成したフィールドに、挿入する差込データを設定する。



- ⑤ 印刷する。

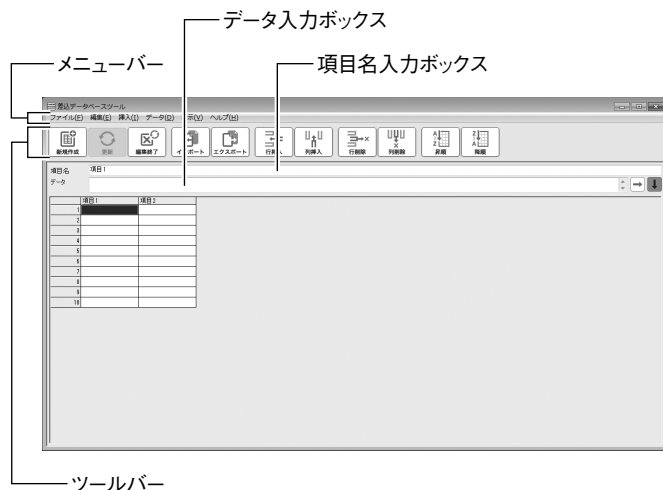
差込用データベースを作成する

差込機能を使うには、まず差込データベースツールを使ってデータベースを作成します。

差込データベースを作るには、「新規に差込データを作成する方法（差込データベースの新規作成）」と「他のソフトで作成したデータを利用して作成する方法（差込データベースの流用作成）」の2つがあります。

差込データベースツールを起動する・終了する

1 「差込(M)」メニューから「差込データ作成／編集(E)」をクリックする。



2 データを作成する。

- ・新規作成については「差込データベースを新規作成する」(49ページ)をご覧ください。
- ・流用作成については「差込データベースを流用作成する」(49ページ)をご覧ください。

3 ツールバーの をクリックする。

- ・「ファイル(F)」メニューから「更新(S)」をクリックしても同じです。

4 ツールバーの をクリックする。

- ・「ファイル(F)」メニューから「差込データベースツールの終了(X)」をクリックしても同じです。

差込データベースツールのメニューバー

メニュー	機能
■「ファイル(F)」メニュー	
「新規作成(N)」	新しい差込用データを作成する。
「更新(S)」	差込用データを更新する。
「編集終了(C)」	差込用データを更新して、差込データベースツールを終了する。
「インポート(I) ...」	他のソフトで作成したデータを取り込む。
「エクスポート(E) ...」	他のソフトで利用できる形式でデータを出力する(.csv, .txt)。
「差込データベースツールの終了(X)」	差込データベースツールを終了する。

メニュー	機能
■「編集 (E)」メニュー	
「元に戻す (U)」	直前の操作を元に戻す。
「やり直し (R)」	直前の操作をやり直す。
「切り取り (T)」	指定した範囲を切り取る。
「コピー (C)」	指定した範囲をコピーする。
「貼り付け (P)」	クリップボード上のデータを貼り付ける。
「削除 (A)」	指定した範囲を削除する。
「行の削除 (W)」	選択した行を削除する。
「列の削除 (M)」	選択した列を削除する。
■「挿入 (I)」メニュー	
「行 (R)」	空白行を挿入する。
「列 (C)」	空白列を挿入する。
■「データ (D)」メニュー	
「並べ替え (S) ...」	データを降順 / 昇順に並べ替える。
■「表示 (V)」メニュー	
「ツールバー (T)」	ツールバーを表示 / 非表示にする。
■「ヘルプ (H)」メニュー	
「バージョン情報 (A) ...」	データベースツールのバージョンを表示する。

差込データベースツールのツールバー

クリックすると、下記のようなことができます。

ツールアイコン	機能
	新規データベースを作成する。
	差込用データを更新する。
	差込用データを更新して、差込データベースツールを終了する。
	他のソフトで作成したデータを取り込む。
	他のソフトで利用できる形式でデータを出力する (.csv, .txt)。
	空白行を挿入する。
	空白列を挿入する。
	選択した行を削除する。
	選択した列を削除する。
	データを昇順に並べ替える。
	データを降順に並べ替える。

差込データベースを新規作成する

差込データベースツールで作成します。

1 ツールバーの をクリックする。

- ・「ファイル (F)」メニューから「新規作成 (N)」をクリックしても同じです。
- ・起動時に新規の画面が表示されているときは、ここは操作しないで、操作 2 に進んでください。

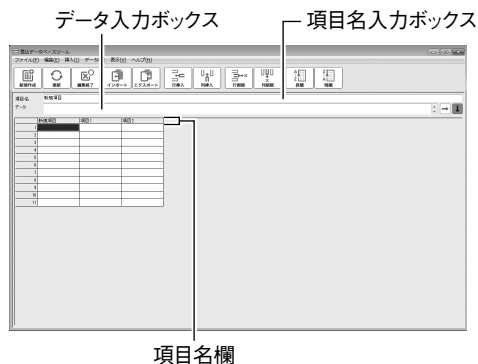
2 ツールバーの をクリックして、必要な分だけレコード入力行を増やす。

- ・「挿入 (I)」メニューから「行 (R)」をクリックしても同じです。

3 ツールバーの をクリックして、必要な分だけ項目欄を増やす。

- ・「挿入 (I)」メニューから「列 (C)」をクリックしても同じです。

4 項目名欄 (「新規項目」「項目 1」や「項目 2」など) をクリックしてから、「項目名入力ボックス」に項目名を入力する。



5 セルをクリックしてから、「データ入力ボックス」にデータを入力する。

重要  セルに直接入力することはできません。必ず、セルを選択した後に「データ入力ボックス」に入力してください。

6 操作 4～5 を繰り返して、必要な項目名とデータを入力する。

7 ツールバーの をクリックする。

- ・「ファイル (F)」メニューから「更新 (S)」をクリックしても同じです。

8 ツールバーの をクリックする。

- ・「ファイル (F)」メニューから「差込データベースツールの終了 (X)」をクリックしても同じです。
- 差込データベースツールが終了して、差込データベースツールを起動する前の画面に戻ります。

差込データベースを流用作成する

他のソフトで作成したデータベースを流用して、差込データベースを作成することができます。

重要  流用できるデータは、下記のファイル形式のものです。

- ・.txt .csv .xls .xlsx
- ・Excel ファイルを流用するには、Microsoft Excel 2000/2002/2003/2007/2010/2013 がインストールされている必要があります。

- 1 ツールバーの  をクリックする。
 - ・「ファイル (F)」メニューから「インポート (I) ...」をクリックしても同じです。
 - 「データファイルを開く」画面が表示されます。

- 2 流用するファイル名を設定する。

- 3 〔開く (O)〕 をクリックする。

「.txt」「.csv」のデータの場合は、「テキストデータの形式」画面が表示されます。「.xls」「.xlsx」のデータの場合は「シートの選択」画面が表示されます（表示されないときは、操作 6 に進んでください）。

 - ・ Excel ファイルをインポートするときの注意
読み込みが可能な Excel の最大サイズは 1,024 行× 128 列です。

- 4 「テキストデータの形式」または「シートの選択」を設定する。

- 5 〔OK〕 をクリックする。

- 6 差込データとして利用する範囲をドラッグして反転させる。
ドラッグした範囲が「セル範囲」に表示されます。



- 7 各項目を設定する。
- 8 〔OK〕 をクリックする。
差込データベースが完成します。
- 9 作成が終了したら、ツールバーの  をクリックする。
 - ・「ファイル (F)」メニューから「更新 (S)」をクリックしても同じです。
- 10 ツールバーの  をクリックする。
 - ・「ファイル (F)」メニューから「差込データベースツールの終了 (X)」をクリックしても同じです。

差込データベースツールが終了して、差込データベースを起動する画面に戻ります。

フィールドを差込設定する

差込データベースに入力した文字や数字は、文字フィールド／バーコードフィールド（2次元コード含む）の中に差し込まれます。

最初に、差し込み用の文字フィールドまたはバーコードフィールドを作成します。そのあと、そのフィールドにデータベースのどの欄（差込項目）のデータを差し込むかを指定します。

- ここでは、例として文字フィールドを設定します（バーコードフィールドのときも同様に設定します）。
- 差込設定したフィールドに連番設定（55 ページ）することはできません。

1 差し込み用の文字フィールドを作成する。

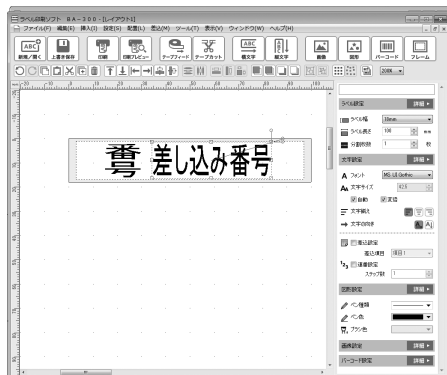
文字フィールドを作成するときは、差し込み用であることが、はっきりとわかる文字列を入力して作成してください。

- ここで入力した文字列、バーコードまたは2次元コードは、差込印刷をしても印刷されません。

2 文字フィールドを配置して、フォーマットを決める。

3 データを差し込む文字フィールドをクリックする。

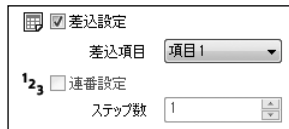
クリックしたフィールドが選択されている状態になります。



4 作業ウィンドウ（21 ページ）の「文字設定」の「差込設定」にチェックを入れる。

文字フィールドに「M」マークが表示され、「差込項目」（データベースの項目名）が指定できるようになります。

5 差し込む項目名をクリックする。



画面上では変化はありませんが、このあと差込印刷をすると、選択した項目名（列）に入力してあるデータが差し込まれるようになります。

- バーコードフィールドの場合、バーコードのプロパティ画面で設定します（41 ページ）。

■文字のプロパティ画面で設定する

次のようにして、差込設定することもできます。

1 「フィールドを差込設定する」(51 ページ)の手順**1**～**3**を行う。

2 「文字設定」の【詳細】をクリックする。

- ・「設定 (S)」メニューから「文字 (T) ...」をクリックしても同じです。

「文字のプロパティ」画面が表示されます。

3 「差込設定」にチェックを入れる。

文字フィールドに「M」マークが表示され、「差込項目」(データベースの項目名)が指定できるようになります。

4 差し込む項目名をクリックする。



画面上では変化はありませんが、このあと差込印刷をすると、選択した項目名(列)に入力してあるデータが差し込まれるようになります。

5 【OK】をクリックする。

あらかじめ差込設定されたレイアウトや文字フィールドを使う

■差込サンプルレイアウトを使う

差込設定済みの文字フィールドが挿入されたサンプルレイアウトが用意されています。

1 「差込 (M)」メニューから「差込サンプルレイアウト (S) ...」をクリックする。

ファイルを選ぶ画面が表示されます。

2 開きたいレイアウト名 (ファイル名) をクリックして、[OK] をクリックする。

選択したレイアウトを編集する画面が表示されます。

- あらかじめ入力されている内容は架空のものです。実在する人物、団体等とは関係ありません。

■差込テキストボックスを使う

差込設定済みの文字フィールドをレイアウトに挿入できます。

1 「差込 (M)」メニューから「差込テキストボックス (T)」をクリックする。

差込設定された文字フィールドが、レイアウトに挿入されます。

- 文字は、差込データベースの最初の項目名 (差込データ未作成時は「項目 1」) となります。
- 差込項目名は、差込データの最初の項目 (差込データ未作成時は「項目 1」) となります。

差込内容を確認する

- 差し込みした内容をレイアウトに実際に差し込んだ状態にして、画面で確認することができます。
- あらかじめ、差込設定をしておいてください。
- 差込設定については、「フィールドを差込設定する」(51 ページ) をご覧ください。
- 差込設定されたフィールドが「グループ」(19・21 ページ) 指定されていると、差込プレビューや差込印刷ができません。あらかじめ「グループ解除」しておいてください。

1 「差込 (M)」メニューから「差込プレビュー (V) ...」をクリックする。

2 何番目のレコードを表示するのか、レコード番号ボックスに入力する。

指定したレコードの内容が、差し込み用の文字フィールドに表示されます。

レコード番号の変更に合わせて、表示は変わります。



差込用の文字フィールド

3 「キャンセル」をクリックする。

差込プレビューを実行する前の状態に戻ります。

- **「OK」をクリックすると**、指定したレコードの内容がレイアウトに差し込まれて表示されます。このとき、**差込プレビューを実行する前の状態に戻すことはできません**。
- 特定のレコードが差し込まれている状態で印刷すると、そのレコードだけを印刷することができます（「印刷する」[63](#) ページ）。

連番機能について

同じフォーマットを使って、その中の数字やアルファベットを連番印刷できます。

連番機能とは

数字やアルファベットが入った文字フィールドを、連番(連続した番号)で印刷する機能です。

指定した数字やアルファベットから始めることができます。また、「ステップ数」で差分(増加分)を設定することもできます。

例 1 : 文字フィールドに「001」を入力して、ステップ数で「1」を指定した場合

001
002
003
004

例 2 : 文字フィールドに「a」を入力して、ステップ数で「3」を指定した場合

a
d
g
j

- 印刷する部数によって、最後のラベルに出力される数字やアルファベットが決まります。

連番の規則

連番の規則について、以下の表を参考にしてください。

入力内容	ステップ数	印刷部数	印刷結果					
1	1	10	1	2	...	9	0	※1
A	1	27	A	B	...	Z	A	※1
a	1	27	a	b	...	z	a	※1
A1	1	10	A1	A2	...	A9	B0	
AA	1	27	AA	AB	...	AZ	BA	
01	1	10	01	02	...	09	10	※2
0A	1	27	0A	0B		0Z	1A	※2
_1	1	10	_1	_2	...	_9	10	※3
_A	1	27	_A	_B	...	_Z	1A	※3
A列01番	1	10	A列01番	A列02番	...	A列09番	A列10番	※4
10cm	1	2	10cm		...		10cn	※5
No.1	1	10	No.1	No.2	...	No.9	Np.0	※5
05	5	10	05	10	...	45	50	※6
0.5	5	10	0.5	1.0	...	4.5	5.0	※4, 6
10	10	5	10	20	...	40	50	※6
1A	26	5	1A	2A	...	4A	5A	※6

- ※1 連番の値が最大に達すると、次は最小に戻ります。
- ※2 必要に応じて上位桁に「0」を入力することで、桁上がりに対応できます。
- ※3 必要に応じて上位桁に「空白」を入力することで、桁上がりに対応できます（「_」は空白）。
- ※4 フィールド内の英数字以外の文字は変化しません。
- ※5 フィールド内の英数字は必ず連番になります。連番させたくない英数字は、別のフィールドに分けてください。
 例：「10cm」「11cm」「12cm」・・・→「10」と「cm」に分け、数字「10」のみ連番指定する。
 例：「No.1」「No.2」「No.3」・・・→「No.」と「1」に分け、数字「1」のみ連番指定し、さらに10枚目を「No.10」とするには「_1」または「01」と入力する。
- ※6 「ステップ数」を指定すると、飛び番号が印刷できます。

フィールドを連番設定する

1 連番用の文字フィールドを作成する。

文字フィールドを作成し、連番の最初の番号になる数字やアルファベットを入力してください。

- 桁上がりが発生する場合は、必要分のゼロまたは空白を入力してください。

例：

「099」→「100」

「_99」→「100」（「_」は空白）

桁上がりの確認は、連番プレビューで確認することができます（59 ページ）。

2 文字フィールドを配置して、フォーマットを決める。

3 連番用の文字フィールドをクリックする。

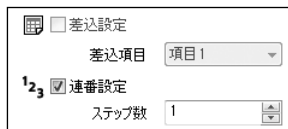
クリックしたフィールドが選択されている状態になります。



4 作業ウィンドウ（21 ページ）の「文字設定」の「連番設定」にチェックを入れる。

文字フィールドに「N」マークが表示されます。

5 「ステップ数」を設定する。



- 数字やアルファベットの差分（増加分）を指定します。「001」、「002」のように、1つずつ増やすときは「1」を指定してください。
画面上では変化はありませんが、このあと印刷をすると文字フィールドの数字やアルファベットが連番になります。
- 連番設定したフィールドに差分設定（51 ページ）することはできません。

■文字のプロパティ画面で設定する

次のようにして、連番設定することもできます。

1 「フィールドを連番設定する」(57 ページ)の手順1～3を行う。

2 「文字設定」の【詳細】をクリックする。

- 「設定 (S)」メニューから「文字 (T) ...」をクリックしても同じです。
「文字のプロパティ」画面が表示されます。

3 「連番設定」にチェックを入れる。

文字フィールドに「N」マークが表示されます。

4 「ステップ数」を設定する。



- 数字やアルファベットの差分（増加分）を指定します。「001」、「002」のように、1つずつ増やすときは「1」を指定してください。

画面上では変化はありませんが、このあと印刷をすると文字フィールドの数字やアルファベットが連番になります。

5 [OK] をクリックする。

連番印刷を確認する

- 連番印刷された状態を画面で確認することができます。
- あらかじめ、連番設定（55 ページ）をしておいてください。
- 連番設定された文字フィールドが「グループ」（19・21 ページ）指定されていると、連番プレビューや連番印刷ができません。あらかじめ「グループ解除」しておいてください。

1 「ファイル(F)」メニューから「連番プレビュー(B)...」をクリックする。

2 何番目の連番データを表示するのか、印刷部数ボックスに入力する。

指定した部数の連番データが、連番用の文字フィールドに表示されます。

印刷部数の変更に合わせて、表示は変わります。



連番用の文字フィールド

3 「[キャンセル]」をクリックする。

連番プレビューを実行する前の状態に戻ります。

- [OK] をクリックすると、指定した連番データがレイアウトに入った状態で表示されます。このとき、連番プレビューを実行する前の状態に戻すことはできません。
- 特定の連番が表示された状態で印刷すると、その番号だけを印刷することができます。

複製機能を使う

作成したレイアウトを簡単に複製できます。

似た内容のラベルを複数枚作成したいときなどに、ひとつのレイアウトの中で複数枚のラベルに分割して、フィールドを複製することができます。

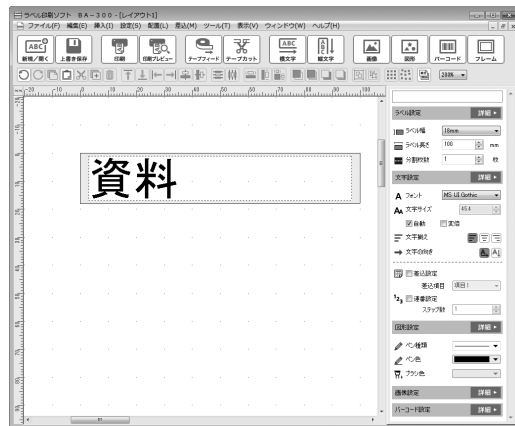
たとえば、文字フィールドは共通で、画像フィールドだけが異なるレイアウトを複数作成する場合に、共通する部分のデザインを完成させた後でレイアウトを複製し、異なる部分を追加すると効率的です。

- レイアウトが複製された状態では、いずれかのレイアウトに追加したフィールドを選んで、他のすべてのレイアウトにそのフィールドを複製して貼り付けることができます。

レイアウトを複製する

1 複製するレイアウトを作成する。

2 フィールド以外の部分をクリックする。



- どのフィールドも選択されていないことを確認してください。

3 ツールバーのをクリックする。

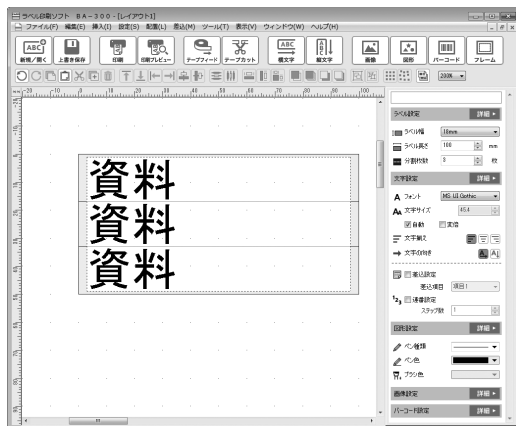
- 「ツール (T)」メニューから「用紙複製 (C) ...」をクリックしても同じです。
「用紙複製」画面が表示されます。

4 「複製」の「部数」に複製する枚数を入力する。



5 [OK] をクリックする。

レイアウトが複製されます。

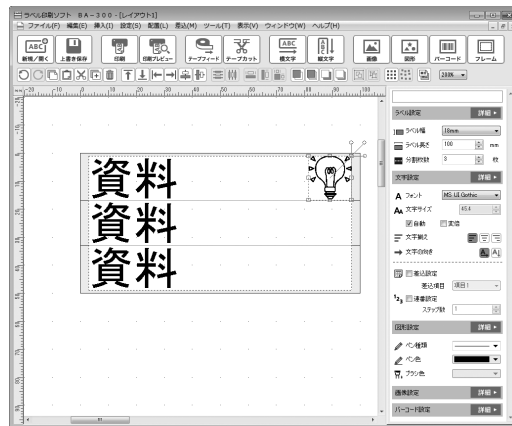


選択したフィールドを複製する

レイアウトを複製した後、いずれかのレイアウトに追加したフィールドを、他のすべてのレイアウトに複製して貼り付けることができます。

1 複製するフィールドをクリックする。

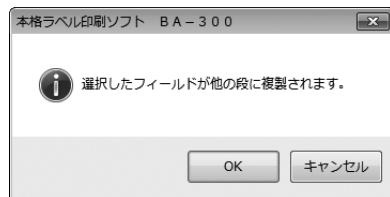
フィールドが選択された状態になります。



2 ツールバーのをクリックする。

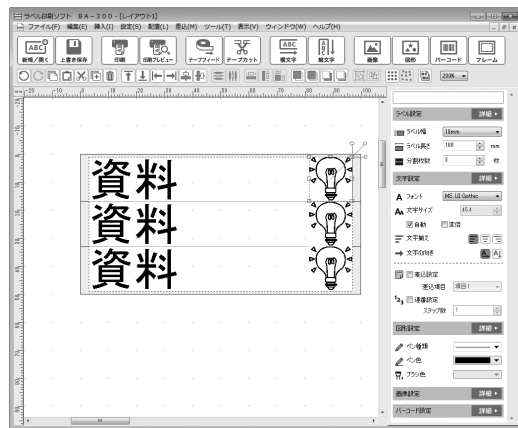
- ・「ツール (T)」メニューから「用紙複製 (C) ...」をクリックしても同じです。

次のメッセージが表示されます。



3 [OK] をクリックする。

選択したフィールドがすべてのレイアウト上に複製されます。



印刷するときの注意事項

印刷するときは、以下のことに注意してください。

- あらかじめ、パソコンとお使いのプリンターが接続されているか、または通信モードになっているか確認してください。
- 印字する前に文字や図形が印刷範囲からはみ出していないか確認してください。
- 設定したテープとプリンターにセットされているテープが一致しているか確認してください。
- プリンタードライバーの「用紙方向」（基本設定タブ内）の設定は、「横（B）」でご使用ください。
- 差込設定または連番設定されたフィールドが「グループ」（19・21ページ）指定されていると、差込印刷や連番印刷ができません。あらかじめ「グループ解除」しておいてください。
- 文字の入力内容や設定によっては、文字サイズが極端に小さくなる場合があります。きれいに印刷できないことがあります。必要に応じて調整してください。

印刷する

作成したレイアウトを、プリンターで印刷、差込印刷をしましょう。また、テープ送りとテープカットも、パソコンからできます。

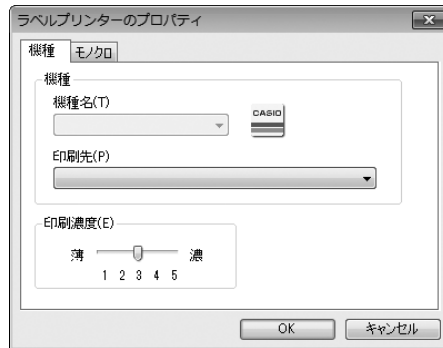
印刷する

1 ツールバーの  をクリックする。

- 「ファイル（F）」メニューから「ラベルプリンターで印刷（P） ...」をクリックしても同じです。



2 「プロパティ（P） ...」をクリックする。



3 各項目を設定する。

- 機種名は、プリンターの種別を表示します。同一のプリンターでも、ネットワーク経由で接続されている場合は、印刷先にプリンター名（パス名を含む）が表示されます。
- 「印刷先（P）」に「プリンターがインストールされていません」と表示されている場合は、プリンタードライバをインストールする必要があります。
- 実際に印刷した結果、文字や図形がかすけていたり濃すぎるときは印刷濃度を変更してください。

4 [OK] をクリックする。

5 部数やオプションなどを設定する。

- 「オートカットの方法（T）」で、テープのカット方法を選択することができます。「ハーフカット・フルカット」「フルカットのみ」「カットしない」から選択します。
- 「ハーフカット・フルカット」を選択すると、複数枚の印刷をしても、途中でフルカットしないでハーフカットします。余白部分が省略されるので、テープを節約することができます。
- 「続けて印刷する」チェックボックスにチェックを入れると、フィード時や、印刷の最後にテープがカットされないため、続けて別の印刷をする際にテープを節約することができます（ご購入時の最初の設定ではチェックは入っていません）。
お使いの機種によってはチェックできないものがあります。
- マグネットテープ、反射テープ、アイロン布テープ、熱収縮チューブの場合は、「カットしない」を選択してください。
- 自己粘着テープ、布転写テープ、インスタントレタリングテープの場合、「フルカットのみ」「カットしない」の中から選択します。
- プリンターの機種を変更した場合、「カット方法」の設定が変わる場合があります。

- 印刷モードでは、「高速印刷」「通常印刷」「マグネットテープ」のいずれかを選択することができます。通常は、「通常印刷」のままで印刷してください。
印字密度を落として印字速度優先で印刷する場合は、「高速印刷」を選択します。
マグネットテープに印刷する場合は、「マグネットテープ」を選択します。マグネットテープはオートカットされません。印刷終了後、テープを取り出し、ハサミなどでカットしてください。
お使いの機種によっては印刷モードを選択できないものがあります。
- 裏書印刷をする場合は、「☐ 裏書印刷する（M）」をチェックします。

6 プリンターとパソコンを接続する。

- プリンター側をパソコンと通信するモードにしてください。

7 [OK] をクリックする。

- 印刷が始まります。
- 印刷を中止するときは、プリンターの機種名が表示されたプリンターモニター画面の[印刷中止（S）] ボタンをクリックします。
 - 拡大印刷したときは、テープを組み合わせて貼ってください（「テープカートリッジの幅以上のラベルを作成するときは」[67](#) ページ参照）。

ご注意

- ・テープの長さが次の値のときは、テープの余白部分がハーフカットされないことがあります。印刷終了後、ハサミなどで切ってください。

機種	余白小	余白中	余白大
KL-E550/KL-E500/ KL-V460/KL-V450	約 30mm 以下	約 37mm 以下	約 47mm 以下
KL-G2/KL-G1/ KL-T100/KL-T70/ KL-T50/KL-M50/ KL-M40	約 28mm 以下	約 35mm 以下	約 45mm 以下

差込印刷する

差込機能については、「差込機能について」(46 ページ)をご覧ください。

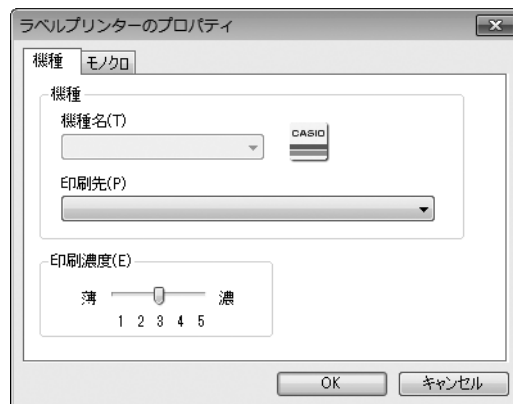
1 「差込 (M)」メニューから「差込印刷 (P) ...」をクリックする。

- ・「ファイル (F)」メニューから「ラベルプリンターで差込印刷 (M) ...」をクリックしても同じです。



2 各項目を設定する。

3 「プロパティ (P) ...」をクリックする。



4 各項目を設定する。

5 「OK」をクリックする。

6 部数やオプションなどを設定する。

7 プリンターとパソコンを接続する。

- ・プリンター側をパソコンと通信するモードにしてください。

8 [OK] をクリックする。

印刷が始まります。

- 印刷を中止するときは、プリンターの機種名が表示されたプリンターモニター画面の[印刷中止 (S)] ボタンをクリックします。
- 登録してあるレコードの中の 1 つだけを印刷したいときは、次のようにします。

①差込プレビューを使って印刷するレコードをレイアウトに表示し、文字フィールドに実際に文字を差し込む。

②通常の印刷をする（「印刷する」63 ページ参照）。

また、65 ページの操作 1 の表示画面で、印刷するレコードを「印刷開始レコード」と「印刷終了レコード」の両方に設定しても、1 つだけのレコードが印刷されます。

テープ送りをする・テープをカットする

パソコンからできます。

1 ツールアイコンをクリックする。



をクリックすると、テープ送りができます。



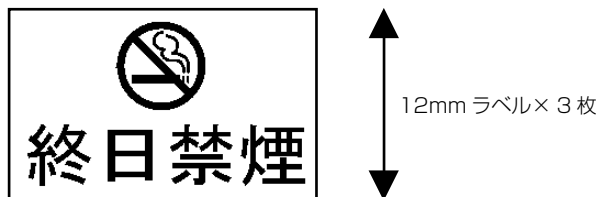
をクリックすると、テープをカットできます。

ラベル作成のヒント

テープカートリッジの幅以上のラベルを作成するときは

ラベルを貼り合わせれば、セットしてあるテープカートリッジの幅よりも大きいラベルを作ることができます。

例 12mm テープカートリッジを使って、下のようなラベルを作成する



1 作業ウィンドウ (21 ページ) の「ラベル設定」で、ラベル幅を「12mm」に、分割枚数を「3 枚」に設定します。

・「ラベルのプロパティ」画面で同様の設定を行うこともできます
（「新しいレイアウトを作成する」14 ページ参照）。



- ・分割枚数が指定できるテープの幅は機種によって異なります。
- ・印刷範囲（幅）が 600mm を超えないように、分割枚数を設定してください。

2 テープの内容を作成します。



3 印刷します。

ラベルが 3 枚印刷されます。組み合わせて貼ると、**例** のようなラベルができあがります。

- ・テープの上下に余白ができるため、余白部分をカットしてから並べて貼ってください。また、余白部分を重ねて貼ることができる「透明テープ」をお使いになることをおすすめします。
- ・KL-E550/KL-E500 をお使いの場合は、「36mm フチなし」または「46mm フチなし」の幅を選ぶと、テープの上下の余白ができず、そのまま並べて貼ることができます。

本ソフトの付録

ソフト操作時のトラブルについて

症状	考えられる原因	ご確認ください
●文字のドットが一部欠けて印刷される	文字フィールドのサイズが小さい	文字フィールドのサイズを少し大きくしてください。サイズを変更しても欠けてしまうときは、「設定 (S)」メニューの「文字 (T) ...」をクリックして「文字揃え」を「自動 (U)」に設定し、印刷してください。また、端の部分に空白を入れると端が欠けずに印刷できることがあります。
	文字のサイズが印刷フィールドに対して大きい	文字のサイズを小さくしてみてください。また、端の部分に空白を入れると端が欠けずに印刷できることがあります。

印刷時のトラブルについて

印刷してもテープが出てこない

● テープ収納部のカバーがしっかりと閉まっていない

カバーをしっかりと閉めてください。

→ 本体の取扱説明書を参照

● テープが終了している

新しいテープカートリッジに交換してください。

→ お使いのプリンターの取扱説明書を参照

● テープが詰まっている

AC アダプターを外してからテープカートリッジを取り出して、詰まったテープを指で引き出します。引き出したテープはハサミなどでカットしてください。そのあと、テープカートリッジを正しくセットし直します。つづいて AC アダプターを接続します。

 印刷中に、次のようなことはしないでください。

- ・ テープ出口をふさぐ
- ・ 出てくるテープに触る
- ・ テープ収納部のカバーを開ける
- ・ AC アダプターを外す
- ・ USB ケーブルを外す

→ お使いのプリンターの取扱説明書を参照

印刷したときにテープは出てくるが、何も印刷されない

● 「空白」だけが入力されている

印刷したい文章を入力してください。

印刷が不鮮明

● 印刷濃度の設定が適切でない

設定を変更してください。

● テープカートリッジが正しくセットされていない

正しくセットし直してください。

→ お使いのプリンターの取扱説明書を参照

● プリンターヘッドやゴムローラーが汚れている

プリンターヘッドやゴムローラーをクリーニングしてください。

→ お使いのプリンターの取扱説明書を参照

インクリボンがテープといっしょにテープ出口から出てきた

● インクリボンがたるんでいるままで、テープカートリッジをセットした

テープカートリッジを取り出します。インクリボンが切れていないことを確認し、正しくセットし直してください。

→ お使いのプリンターの取扱説明書を参照

-  重要！
- ・ テープカートリッジをセットするときは、必ずインクリボンのたるみを取ってください。
 - ・ インクリボンが切れているときは、新しいテープカートリッジ（別売）に交換してください。

テープが切れない

● テープが詰まっている

テープカートリッジを取り出し、詰まっているラベルを取り除いてください。

→ お使いのプリンターの取扱説明書を参照

● テープカッターが磨耗している

お使いのプリンターの取扱説明書に記載されている「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡して交換してください。

● 印刷するときに、「カットしない」を選んでいる

「カットしない」以外を選んでください。

● ラベルの長さが短い

印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。

→ カットできるラベルの長さはお使いの機種およびオートカットの方法により若干異なります（65 ページの左の表の「ハーフカットされないテープ長」の欄を参照）。

ハーフカットができない

● ハーフカッターが磨耗している

お使いのプリンターの取扱説明書に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡して交換してください。

● 「オートカットの方法 (T)」を、「カットしない」に設定している

「オートカットの方法 (T)」を「ハーフカット・オートカット」に設定してください。



- ・ テープカートリッジをセットするときは、必ずインクリボンのたるみを取ってください。
- ・ マグネットテープ、反射テープ、アイロン布テープ、熱収縮チューブをカットすると、カッター部分の寿命が短くなり、ハーフカッター部分が破損することがあります。
マグネットテープ、反射テープ、アイロン布テープ、熱収縮チューブに印刷するときは、オートカットの方法を「カットしない」にして印刷してください。印刷終了後、テープ送りをしてから、テープを取り出し、ハサミなどでカットしてください。

テープが貼れない

● 裏紙をはがしていない

裏紙をはがしてから貼ってください。

→ お使いのプリンターの取扱説明書を参照

● 貼る場所やものが適していない

適している場所やものに貼ってください。

→ お使いのプリンターの取扱説明書を参照

印刷が途中で止まる

● プリンターヘッドが加熱している

印刷時にはプリンターヘッドが熱くなります。たくさんのテープを続けて印刷したときや、黒い部分が多いテープを印刷したときなど、プリンターヘッドが熱くなりすぎないように印刷を中断または中止することがあります。

● プリンター本体にセットしてある電池が消耗している

印刷時には、通常よりも多くの電力を必要とします。このため、プリンターの電源が入っていても、印刷すると停止することがあります。

新しい電池に交換するか、AC アダプターを接続してご使用ください。

エラーメッセージ一覧

エラーメッセージ	対処方法
通信エラーが発生しました	プリンターとパソコンが接続されていることを確認してください。または、プリンターの電源が入っていることを確認して、もう一度印刷してください。
エラーが発生しました	プリンターの状態が異常です。いったん電源を入れ直してください。その後、印刷をやり直してください。
	プリンターの電源電圧が異常です。電池が消耗しているかもしれません。プリンターの電池を交換するか、ACアダプターを接続して印刷してください。
	USBドライバが正常にインストールされているかどうかを確認してください。
印刷中止が指定されました	印刷がキャンセルされました。
確認してください	プリンターのヘッド温度が高すぎます。しばらくしてから印刷を再開してください。
	プリンターと通信ができません。プリンターが接続されている場合は、パソコンと通信するモードにしてください。
	プリンターに装着されているテープの幅・種類が合っているか確認してください。
	プリンター内にテープが詰まっているか、テープ幅・種類が合っているか、テープが終了していないか確認してください。
	指定のプリンターが接続されていません。プリンターを確認して、もう一度印刷してください。
プリンターの電源が消耗しています。印刷を続行しますか？	印刷継続ボタンを押して印刷することもできますが、電池が消耗した状態で印刷を続けるとプリンターの電源がOFFします。プリンターの電池を交換するか、ACアダプターを接続して印刷してください。

エラーメッセージ	対処方法
プリンターが接続されているパソコンからの応答がありません。プリンターが接続されているパソコンで印刷状況を確認してください。	パソコンにつながれたプリンターがネットワーク上にある場合に表示されます。プリンターが接続されているパソコンで印刷状況を確認してください。

本ソフト使用時のトラブルについて

●「フィールドの枠と文字または図形、画像のデータ」が印刷時にずれたときは

フィールドの枠と文字または図形、画像のデータとずれが発生する場合があります。詳しくは、印刷プレビューでご確認してから、印刷してください。

●ビットマップや他の画像ファイルの読み込み時、または、印刷実行時にメモリー不足になったときは

本ソフトで、画像フィールドにビットマップなどの画像ファイルを読み込もうとしたり、画像フィールドが登録されているレイアウトを印刷しようとするときに「実行するためのメモリーが不足しています」とメッセージが表示されることがあります。

この現象には2つの原因が考えられます。

第一の原因としては、メモリーが不足していることが考えられます。この場合は、他の実行中のプログラムを終了してからもう一度実行してみてください。

第二の原因としては、Windows のディスプレイドライバの問題が考えられます。ほとんどのディスプレイドライバの最新版は、この問題を解決しているようですので詳細につきましては、お使いのパソコンメーカーにお問い合わせください。

●読み込んだカラービットマップなどの画像が、印刷したときに黒くつぶれてしまうときは

「ビットマップの輝度が低い」ことが考えられます。

ペイント系のソフトで輝度も高い方向に調整してください。または2値化（色数 2 色）して画像がつぶれないように調整してください。つぶれの度合いが少なくなることがあります。

●画像ファイルが読み込めないとき

以下の通り、読み込める画像ファイルの制限があります。

【画像サイズ】

縦、横それぞれ 1,280 ドットを超える場合はリサイズされます。

【画像形式ごとの制限】

BMP 形式： RLE 圧縮していない場合には以下のビット数の画像を読み込むことが可能です。

1,4,8,16,24,32

RLE 圧縮している場合には以下のビット数の画像を読み込むことが可能です。

1,4,8

JPEG 形式： YUV 4:4:4、4:2:2、4:1:1 カラースペース及びグレースケール用の YUV4:0:0 を読み込むことが可能です。

PNG 形式： 4,8,16,24,32 ビットの画像を読み込むことが可能です。

上記の形式ファイルのオプション仕様の詳細については、その形式ファイルを作成したソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

CASIO®

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

M01706-A

© 2017 CASIO COMPUTER CO., LTD.